

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|------------|------------|--|--------------|---|
| S1 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 敷地の地下構造を把握するのに実施した調査・分析について、特異な傾向の有無を確認するため、全ての評価結果を提示すること。 | 地下構造 (論点) | 平成26年3月4日ヒア 平成26年4月11日ヒア 平成26年4月16日会合 |
| S2 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 策定している基準地震動の妥当性等を検証するため、原子炉建屋基礎版上で得られた地震観測記録を号機間で比較すること。 | 地震 (論点) | 平成26年3月4日ヒア 平成26年4月11日ヒア 平成26年4月16日会合 |
| S3 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 敷地内で認められるシームについて、新第三紀中新世の南北圧縮応力場での褶曲運動に伴う層面すべりで形成されたとする解釈のみでなく、シームそのものに関する地質学的な証拠をもって、詳細に説明すること。 | 地盤 (論点) | 平成26年3月4日ヒア 平成26年4月17日ヒア |
| S4 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 宍道断層の端部評価に当たって実施された地質調査地点について、その調査位置及び手法の妥当性を検証すること。 | 地震 (論点) | 平成26年1月30日ヒア 平成26年2月10日ヒア 平成26年2月20日会合 |
| S5 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 断層モデルによる地震動評価を行う際に用いるプログラムは、その適切性に留意しつつ、より保守的な評価となっていることを検証すること。 | 地震 (論点) | 平成27年9月29日ヒア 平成28年2月3日ヒア 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| S6 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 「震源を特定せず策定する地震動」に関して、基準地震動評価ガイドにある地震観測記録収集対象事例の16地震について、観測記録等の分析・評価を実施すること。 | 地震 (論点) | 平成26年6月27日会合 |
| S7 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 敷地への火砕流等の到達の有無に関して、詳細な地形・地質調査結果を提示すること。 | 火山 (論点) | 平成26年8月6日ヒア 平成27年6月8日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| S8 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 島根県による佐渡島北方沖の最大規模の地震による津波評価の結果に関し、基準津波への反映について検討すること。 | 津波 (論点) | 平成26年3月13日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| S9 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 津波の評価について、波源の位置、波源の特性等の設定に関わる検討内容を示すこと。 | 津波 (論点) | 平成26年3月13日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| S10 | 平成26年1月28日 | 第73回会合 | 陸上地すべり、海底地すべり、山体崩壊等の津波発生要因との組合せについて、その考慮の必要性を検討した結果を提示すること。 | 津波 (論点) | 平成26年3月13日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| S11 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 坂本・山田(1982)に記載されている敷地近傍の南北走向の断層の存否について説明すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア |
| S12 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 敷地の西方海域において、重力コンターの傾斜部における地質構造について、説明すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア 平成27年3月31日ヒア 平成27年5月12日ヒア 平成27年5月26日ヒア 平成27年6月3日ヒア 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| S13 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 中海北部の重力コンターの急傾斜部において、陸域と水域の地質・地質構造の連続性について説明すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア 平成27年3月31日ヒア 平成27年5月12日ヒア 平成27年5月26日ヒア 平成27年6月3日ヒア 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| S14 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 鉛直変位量による活動性検討に当たっては、その他の文献によるトレンチ調査結果も考慮すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア |
| S15 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 男島付近のCランクの変位地形・リニアメントの成因について、詳細に説明すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|------------|------------|--|------|---|
| S16 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 下宇部尾東のはぎ取り調査位置について、変位地形・リニアメントとの位置関係や地質分布状況を踏まえて、妥当性を説明すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| S17 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 森山の反射法地震探査について、反射面に不連続が認められるCMP490付近の解釈を説明すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| S18 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 森山北及びLoc.T-2で確認された火山灰について、大山松江軽石層(DMP)と同定したデータを提示すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア |
| S19 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 古殿[北][南]断層について、活断層研究会編(1991)に示された断層地形と、事業者が判読した変位地形・リニアメントの相違について説明すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア |
| S20 | 平成26年2月20日 | 第83回会合 | 木次南断層について、変位地形・リニアメントを横断する低位面群(Lf2面)の傾動の有無について、再検討すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア |
| S21 | 平成26年3月19日 | 第95回会合 | 鳥取沖西部断層の西端付近の評価について、事業者の音波探査記録等では端部の評価ができないので、最新手法による精度の高い音波探査記録により評価を行うこと。調査に当たっては、浅部と深部の両方の地質構造が把握できるよう留意すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア 平成26年4月9日会合 平成27年3月11日ヒア 平成27年5月15日会合 |
| S22 | 平成26年3月19日 | 第95回会合 | F-Ⅲ～FK-2断層の端部評価について、同一測線上でも音波探査音源の違いにより音波探査記録の見え方が様々なので、複数のデータを用いて詳細に検討すること。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア 平成26年4月9日会合 平成27年3月11日ヒア 平成27年5月15日会合 |
| S23 | 平成26年3月19日 | 第95回会合 | 大田沖断層の地質年代区分について、断層評価に当たっては、より詳細な地質の年代区分について検討を行うこと。 | 地震 | 平成26年4月4日ヒア 平成26年4月9日会合 平成27年3月11日ヒア 平成27年5月15日会合 |
| S24 | 平成26年4月9日 | 第103回会合 | 大田沖断層の年代区分に当たっては、地質年代の直接的な測定を行うこと。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成27年3月11日ヒア 平成27年5月15日会合 |
| S25 | 平成26年4月9日 | 第103回会合 | 古浦沖から大田沖断層まで、島根半島に沿って宍道断層が延伸していないか確認を行うこと。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| S26 | 平成26年4月9日 | 第103回会合 | 宍道断層の端部評価については、追加調査も含めて更なるデータ拡充を検討すること。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| S27 | 平成26年4月16日 | 第106回会合 | 2号、3号の速度層断面図作成の考え方及び結果の妥当性について説明すること。 | 地下構造 | 平成26年8月26日ヒア 平成26年9月5日会合 |
| S28 | 平成26年4月16日 | 第106回会合 | トモグラフィ解析結果にコンターを示すこと。 | 地下構造 | 平成26年8月26日ヒア 平成26年9月5日会合 |
| S29 | 平成26年4月16日 | 第106回会合 | 2号及び3号地下構造モデルの妥当性を観測記録を用いて示すこと。 | 地下構造 | 平成26年8月26日ヒア 平成26年9月5日会合 |
| S30 | 平成26年4月16日 | 第106回会合 | 地震動評価用モデルの設定にあたって安全側に設定した減衰の評価方法について説明すること。 | 地下構造 | 平成26年8月26日ヒア 平成26年9月5日会合 |
| S31 | 平成26年4月16日 | 第106回会合 | 地震動評価に用いる地下構造モデルに考慮していない大深度ボーリングのPS検層結果にみられる高速度層について検討すること。 | 地下構造 | 平成26年8月26日ヒア 平成26年9月5日会合 |
| S32 | 平成26年4月16日 | 第106回会合 | 同定している2号、3号の地下構造モデルの解放基盤表面におけるS波速度の違いについて検討すること。 | 地下構造 | 平成26年8月26日ヒア 平成26年9月5日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|-------------|------------|--|------|---|
| S33 | 平成26年4月16日 | 第106回会合 | 3号地盤についても2次元地下構造モデルによる検討を行い、傾斜構造による影響を検討すること。 | 地下構造 | 平成26年8月26日ヒア 平成27年1月14日ヒア 平成27年3月4日ヒア 平成27年3月6日会合 |
| S34 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | 敷地の傾斜構造の影響を考慮した上で、地震動評価に用いる地下構造モデルを水平成層とみなして評価したことについて説明すること。 | 地下構造 | 平成26年10月22日ヒア 平成26年11月5日ヒア 平成26年11月10日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S35 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | 速度層断面図の妥当性を確認するため、敷地内の地質・地質構造を詳細に説明すること。 | 地下構造 | 平成26年10月7日ヒア 平成26年10月22日ヒア 平成26年11月5日ヒア 平成26年11月10日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S36 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | 2号炉基礎地盤(南北断面)では、南側で高速度層を示すドレイトが地表付近まで分布していることから、これを踏まえても速度層断面図が妥当であることを説明すること。 | 地下構造 | 平成26年10月7日ヒア 平成26年10月22日ヒア 平成26年11月5日ヒア 平成26年11月10日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S37 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | 各速度層の代表値の設定の考え方について妥当性を説明すること。 | 地下構造 | 平成26年10月7日ヒア 平成26年10月22日ヒア 平成26年11月5日ヒア 平成26年11月10日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S38 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | オフセットVSP探査のトモグラフィ解析結果(南北方向)において、深度800m付近のコンター線が凹型に膨らんでいることについて検討すること。 | 地下構造 | 平成26年10月22日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S39 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | 地下構造モデルに反映されていない高速度層①について、地盤増幅特性に与える影響を検討すること。 | 地下構造 | 平成26年10月7日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S40 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | 2号及び3号地下構造モデルにおいて考慮している高速度層の位置について、その設定方法を説明すること。 | 地下構造 | 平成26年10月7日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S41 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | オフセットVSP探査結果と速度層断面の整合性を確認すること。 | 地下構造 | 平成26年10月7日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S42 | 平成26年9月5日 | 第135回会合 | 地震動評価に用いる地下構造モデルの妥当性確認として、微動アレイ観測結果の分散曲線との整合性を確認すること。 | 地下構造 | 平成26年10月7日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| S43 | 平成26年11月21日 | 第164回会合 | 2次元地下構造モデルを用いた検討における入射角の設定方法について説明すること。 | 地下構造 | 平成27年1月14日ヒア 平成27年3月4日ヒア 平成27年3月6日会合 |
| S44 | 平成26年11月21日 | 第164回会合 | 文献に基づき設定している地下構造モデル深部の減衰定数について、設定根拠を説明すること。 | 地下構造 | 平成27年1月14日ヒア 平成27年3月4日ヒア 平成27年3月6日会合 |
| S45 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 重力異常図を踏まえると、島根半島には大きな基盤の落ち込みがあるとも想定されることから、重力異常の要因を説明すること。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年5月12日ヒア 平成27年5月26日ヒア 平成27年6月3日ヒア 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| S46 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 下宇部尾東のボーリングコアの破砕部について詳細な性状を示すこと。 | 地震 | 平成27年2月5,6日現地調査 |
| S47 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 森山断層露頭の崖錐堆積物3層を赤色土とすることの妥当性について、詳細に説明すること。 | 地震 | 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S48 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 森山トレンチにおいて堆積層の層厚変化が見られるため、堆積構造の解釈を説明すること。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S49 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 森山トレンチの火山灰分析等について、詳細なデータを示すこと。 | 地震 | 平成27年2月5,6日現地調査 平成27年2月16日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S50 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 森山トレンチの礫混りシルト層にATテフラの混在が認められるため、その解釈を説明すること。 | 地震 | 平成27年2月5,6日現地調査 平成27年2月16日ヒア |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|------------|------------|--|------|--|
| S51 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 森山トレンチで認められた断層について、トレースの考え方を示すこと。 | 地震 | 平成27年2月5,6日現地調査 |
| S52 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 薄片観察結果について、活動性があった場合どのような構造が認められるのか比較を示し説明すること。 | 地震 | 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S53 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 海底面調査で見られた男島、女島の溝地形の成因について、陸の沿岸部付近で得られた地質構造のデータを示し関連性を説明すること。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S54 | 平成27年1月16日 | 第183回会合 | 女島において現時点の説明のみでは断層の存在が否定できないため、詳細な説明をすること。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S55 | 平成27年3月6日 | 第204回会合 | 地下構造モデル深部の物性値の設定に用いている文献の内容について詳細に説明すること。 | 地下構造 | 平成27年4月1日ヒア |
| S56 | 平成27年3月6日 | 第204回会合 | 2号地下構造モデルの速度値と調和的ではない密度値について原因を説明すること。 | 地下構造 | 平成27年4月1日ヒア |
| S57 | 平成27年3月6日 | 第204回会合 | 2次元地下構造モデルの検討に用いた臨界角の求め方について説明すること。 | 地下構造 | 平成27年4月1日ヒア |
| S58 | 平成27年3月6日 | 第204回会合 | 断層モデルを用いた手法による地震動評価として、経験的グリーン関数法が適用できる地震観測記録がないか、記録を確認して説明すること。 | 地震 | 平成27年9月29日ヒア 平成28年2月3日ヒア |
| S59 | 平成27年4月24日 | 第223回会合 | 試掘坑において、ドライト岩脈中のせん断帯は、B24シーム沿いに連続しているにも関わらず、B23シームで活動性評価を代表させることの妥当性を説明すること。 | 地盤 | 平成27年7月29日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S60 | 平成27年4月24日 | 第223回会合 | B28・29シームについて、イライト/スメクタイト混合層鉱物が検出されない理由を説明すること。 | 地盤 | 平成27年7月29日ヒア 平成27年12月14日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S61 | 平成27年4月24日 | 第223回会合 | 過褶曲とシームの形成過程について詳細に説明すること。 | 地盤 | 平成27年10月21日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S62 | 平成27年4月24日 | 第223回会合 | 敷地近傍で認められるNNW-SSE方向の海岸地形の成因を検討すること。 | 地盤 | 平成27年7月29日ヒア 平成27年12月14日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S63 | 平成27年4月24日 | 第223回会合 | 背斜軸南側に分布するシームについて、断面図等のデータを示すこと。 | 地盤 | 平成27年7月29日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S64 | 平成27年4月24日 | 第223回会合 | 薄片観察で確認された鉱物について、生成条件、活動性等に関するデータを補強すること。 | 地盤 | 平成27年7月29日ヒア 平成27年12月14日ヒア 平成27年1月6日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S65 | 平成27年4月24日 | 第223回会合 | シームのX線回折分析について、生成温度条件を踏まえて鉱物種を再検討すること。 | 地盤 | 平成27年7月29日ヒア 平成27年12月14日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S66 | 平成27年5月15日 | 第226回会合 | 敷地前面海域の採泥調査結果を踏まえた地層の層序区分の妥当性について、パネルダイヤグラムを示すこと。 | 地震 | 平成27年6月17日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S67 | 平成27年5月15日 | 第226回会合 | 三瓶雲南テフラを同定している火山灰分析結果について、火山灰同定の根拠となっている化学組成の分析結果を示すこと。 | 地震 | 平成27年6月17日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S68 | 平成27年5月15日 | 第226回会合 | 鳥取沖西部断層の西端評価について、地蔵崎先端付近の音波探査記録において断層が存在するとも考えられることから拡大図を示すこと。 | 地震 | 平成27年6月17日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S69 | 平成27年5月15日 | 第226回会合 | 大田沖断層の西方の小断層群の評価も踏まえて、西端評価の妥当性について説明すること。 | 地震 | 平成27年6月17日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S70 | 平成27年5月15日 | 第226回会合 | 旧K-8撓曲の南に位置する単独断層が隣接していることから、これら単独断層の連続性について説明すること。 | 地震 | 平成27年6月17日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|------------|----------------|--|----|--|
| S71 | 平成27年6月12日 | 第238回会合 | 三瓶山及び大山を除く19火山の階段ダイヤグラムを作成すること。 | 火山 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| S72 | 平成27年6月12日 | 第238回会合 | 三瓶浮布テフラ噴出時の噴火規模について、文献を整理すること。 | 火山 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| S73 | 平成27年6月12日 | 第238回会合 | 大気パラメータ(風速・風向データ)の値を資料に追加すること。 | 火山 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| S74 | 平成27年6月12日 | 第238回会合 | 三瓶山のシミュレーションによる層厚評価にあたっては、噴煙柱高度、密度、風速等の不確かさを考慮した検討を行うこと。 | 火山 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| S75 | 平成27年6月12日 | 第238回会合 | 火砕流堆積物主体の三瓶大田についても噴出規模の不確かさを考慮した検討としてシミュレーションを実施すること。 | 火山 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| S76 | 平成27年6月12日 | 第238回会合 | 大山についても大山松江テフラの層厚の妥当性を確認するために、シミュレーションを実施すること。 | 火山 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| S77 | 平成27年6月12日 | 第238回会合 | 南講武地点で確認された火山灰の層厚評価にあたっては、周辺で実施しているボーリングの調査結果や断層の変位による影響等を踏まえ検討すること。 | 火山 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| S78 | 平成27年6月12日 | 第238回会合 | 三瓶山の最新降下火山灰噴出時(約3,600年前以降)の活動様式について説明すること。 | 火山 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| S79 | 平成27年6月19日 | 第241回会合 | 重力変化の抽出にあたっては、東西方向と南北方向に分けた水平1次微分図についても作成し、断層との関係を確認すること。 | 地震 | 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S80 | 平成27年6月19日 | 第241回会合 | 重力データの解析にあたっては、密度や基盤形状を変化させて再現性を向上させること。 | 地震 | 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S81 | 平成27年6月19日 | 第241回会合 | F-①断層とF-②断層との連続性について音波探査記録を示すこと。 | 地震 | 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S82 | 平成27年6月19日 | 第241回会合 | 大社衝上断層の西端測線で認められるB層の高まりについて詳細を示すこと。 | 地震 | 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S83 | 平成27年6月19日 | 第241回会合 | F-①断層の西方測線で認められるD2層の高まりについて詳細を示すこと。 | 地震 | 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| S84 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 下宇部尾東のはぎ取り調査において認められるパンペリー石の変質起源について詳細な説明を行うこと。 | 地震 | 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |
| S85 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 下宇部尾東地点の見直し後の地質断面図の安山岩(溶岩)と安山岩質火砕岩の堆積関係について、考え方を示すこと。 | 地震 | 平成27年8月19日ヒア 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |
| S86 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 森山トレンチにおける14C分析による年代値を採用しない理由を説明すること。 | 地震 | 平成27年8月19日ヒア 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |
| S87 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 薄片観察に関する詳細検討のまとめにおいて、森山断層露頭等の評価結果を詳細に記載を示すこと。 | 地震 | 平成27年8月19日ヒア 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |
| S88 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 古浦沖の地質層序と海域の地質層序の対応関係を示すこと。 | 地震 | 平成27年8月19日ヒア 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|---------------------|------------|--|----|--|
| S89 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 女島地点の南側において、文献に示された断層の存否について、ルートマップを示し説明すること。 | 地震 | 平成27年8月19日ヒア 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 平成27年10月21日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S90 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 女島地点のボーリング調査で認められた破砕部について、その性状や連続性について詳細な検討結果(針貫入試験結果を含む)を示すこと。 | 地震 | 平成27年8月19日ヒア 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |
| S91 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 水平1次微分図(東西方向)に認められる大山付近の重力異常の要因を説明すること。 | 地震 | 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |
| S92 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 敷地周辺の重力異常の要因である基盤の落差の形成期間について考察すること。 | 地震 | 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |
| S93 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 敷地周辺におけるシームの性状を説明すること。 | 地震 | 平成27年10月21日ヒア 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S94 | 平成27年7月31日 | 第257回会合 | 宍道断層の評価結果のまとめにおいて、女島の評価を詳細に記載すること。 | 地震 | 平成27年8月19日ヒア 平成27年8月25日ヒア 平成27年9月2日ヒア 平成27年9月9日会合 |
| S95 | 平成27年9月9日 | 第271回会合 | 女島地点のボーリングコアに認められるスランプ相の分布について整理し、地層の急傾斜部との関係について説明すること。 | 地震 | 平成27年10月21日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S96 | 平成27年9月9日 | 第271回会合 | 女島地点で認められる破砕部①及び破砕部②の連続性について、平面的な位置関係も含めて検討すること。 | 地震 | 平成27年10月21日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S97 | 平成27年9月9日 | 第271回会合 | 女島地点で認められる破砕部①及び破砕部②の縦ずれ条線について、横ずれ断層の端部性状である可能性も含めて検討すること。 | 地震 | 平成27年10月21日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S98 | 平成27年9月9日 | 第271回会合 | 女島地点で認められる地層の急傾斜部の成因について、さらに西側において同じく急傾斜部を示す美保地点の地質構造を踏まえ検討すること。 | 地震 | 平成27年10月21日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S99 | 平成27年9月9日 | 第271回会合 | 女島の更に西方に、鹿野・中野(1986)の文献断層が示されており、また活断層研究会編の確実度Ⅲの活断層(活断層の疑いのあるリニアメント)も示されていることから、この地域の地形状況や女島で確認された急傾斜構造の連続性について説明すること。 | 地震 | 平成27年10月21日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S100 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | 女島西方地点の連続露頭において、小規模な変位を伴う断層が認められるため、スケッチに記載すること。 | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S101 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | 女島地点の急傾斜部付近において、南傾斜の露頭が認められるため、露頭の走向傾斜を確認すること。 | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S102 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | ボーリングコアにおいて認められるキンク状褶曲、シーム、断層について、柱状図へ記載すること。 | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S103 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | ボーリングコアMS-6孔の深度29.20mの固結した破砕部の走向傾斜をコア及びBHTVから再確認すること。 | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S104 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | ボーリングコアMS-2孔の深度79～88mに認められる岩片状の泥岩について、性状を確認すること。 | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S105 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | ボーリングコアMS-6孔の深度24.5m、MS-7孔の深度22.5mに認められる粘土部について、性状を確認すること。 | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S106 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | ボーリング地質断面図のBHTVとコア観察に基づく地層の最急傾斜について、データ拡充すること。 | 地震 | 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S107 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | 美保露頭の凝灰岩中に固結した未固結時の変形が認められるため、性状を追記すること。 | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|---------------------|------------|--|----|--|
| S108 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | 鹿野・竹内ほか(1991)に記載されている牛切層と成相寺層の地層境界付近について、地質状況を確認すること。 | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月8日ヒア 平成27年12月16日会合 |
| S109 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | 過褶曲とシームの形成過程については、2号炉増設に係る敷地造成時の法面北端付近に認められる過褶曲構造も踏まえた評価を行うこと。 | 地盤 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月14日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S110 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | 安山岩への褶曲の影響の有無について、古地磁気測定、節理の性状観察等により説明すること。 | 地盤 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年12月14日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S111 | 平成27年 10月29, 30日 | 現地調査 | ドレライトと安山岩の岩種区分の妥当性について、説明すること。 | 地盤 | 平成27年12月14日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| S112 | 平成27年11月20日 | 第297回会合 | 更なるデータ拡充のための調査結果について、結果の概要だけでなく、活断層の端部付近の記録を示すこと。 | 地震 | |
| S113 | 平成27年11月20日 | 第297回会合 | 今回連動を考慮したF _{KO} 断層と同様の考え方により、他に連動を考慮する断層がないか示すこと。 | 地震 | |
| S114 | 平成27年12月16日 | 第309回会合 | 古浦西方の陸域において、中田ほか(2008)による鹿島断層の通過位置の評価について詳細に説明すること。 | 地震 | 平成28年1月20日ヒア 平成28年1月29日会合 |
| S115 | 平成27年12月16日 | 第309回会合 | 男島付近のCランクの変位地形・リニアメントの成因について、詳細に説明すること。 | 地震 | 平成28年1月20日ヒア 平成28年1月29日会合 |
| S116 | 平成27年12月16日 | 第309回会合 | 男島の溝地形延長部における潜水調査により確認された地質境界について詳細に説明すること。 | 地震 | 平成28年1月20日ヒア 平成28年1月29日会合 |
| S117 | 平成27年12月16日 | 第309回会合 | 陸海境界の調査精度を踏まえ「古浦西方の西側」を西端とする評価を再検討すること。 | 地震 | 平成28年1月20日ヒア 平成28年1月29日会合 |
| S118 | 平成28年1月15日 | 第318回会合 | 取りまとめ資料の作成に当たっては、条線観察、薄片観察等から得られた知見も地質構造発達史に反映すること。 | 地盤 | |
| S119 | 平成28年1月15日 | 第318回会合 | 取りまとめ資料の作成に当たっては、熱史等に係る今回の検討結果を踏まえた総合的な評価を行うこと。 | 地盤 | |
| S120 | 平成28年1月15日 | 第318回会合 | 取りまとめ資料の作成に当たっては、背斜軸南側の断面図について、もう少し幅広に示すこと。 | 地盤 | |
| S121 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 検討用地震のモデル化について、申請時と変更後の違いを分かりやすく示すこと。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S122 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 宍道断層による地震について、断層傾斜角の不確かさの設定を再検討すること。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S123 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 宍道断層及びF-Ⅲ断層+F-Ⅳ断層+F-Ⅴ断層による地震について、すべり角の不確かさの設定を検討すること。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S124 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 宍道断層による地震の不確かさの組合せケースの設定根拠として、どの地震動評価ケースが地震動に影響するのか分かりやすく示すこと。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S125 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 宍道断層による地震について、断層の延長上に位置する重力コンターの急傾斜部を考慮した地震動評価ケースを検討すること。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S126 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 応答スペクトルに基づく地震動評価について、断層パラメータを記載すること。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S127 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | F-Ⅲ断層+F-Ⅳ断層+F-Ⅴ断層による地震について、F-Ⅲ断層及びF-Ⅳ断層と地下深部で収斂していると考えられるF-①断層及びF-②断層を考慮した地震動評価ケースを検討すること。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|---|----|--|
| S128 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 短周期レベルの不確かさの根拠としている知見を、より充実させること。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S129 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 宍道断層による地震の第一アスペリティについて、何通りか考えられる配置を検討し、それらの地震動評価結果を比較して地震動への影響を確認すること。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S130 | 平成28年5月13日 | 第360回会合 | 宍道断層による地震の応答スペクトルに基づく地震動評価に用いているNGA距離減衰式について、2008年版と2014年版の地震動評価結果を比較すること。 | 地震 | 平成28年6月15日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| S131 | 平成28年11月11日 | 第414回会合 | 地震発生層の下限深さについて、震源インバージョン解析結果や微小地震の分布状況を踏まえて再検討すること。 | 地震 | 平成28年12月20日ヒア 平成29年1月10日ヒア 平成29年10月3日ヒア 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 平成29年11月8日ヒア |
| S132 | 平成28年11月11日 | 第414回会合 | 宍道断層の断層傾斜角について、地質調査結果の充足性、信頼性を踏まえて再検討すること。 | 地震 | 平成28年12月20日ヒア 平成29年1月10日ヒア 平成29年1月23日ヒア 平成29年10月3日ヒア 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| S133 | 平成28年11月11日 | 第414回会合 | 宍道断層の東端について、地震調査委員会(2016)の長期評価も踏まえて考え方を整理して説明すること。 | 地震 | 平成28年12月20日ヒア 平成29年1月10日ヒア 平成29年1月23日ヒア 平成29年1月30日ヒア 平成29年2月7日ヒア 平成29年2月13日ヒア 平成29年2月17日会合 |
| S134 | 平成28年11月11日 | 第414回会合 | 宍道断層による地震の地震動評価における不確かさの重量について、断層傾斜角の不確かさケースの地震動レベルが水平動で大きいことも踏まえて再検討すること。 | 地震 | 平成29年10月3日ヒア 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| S135 | 平成28年11月11日 | 第414回会合 | 宍道断層は発電所の敷地の近傍に位置するが、浅部の破壊による影響が無い事を確認した根拠を示すこと。 | 地震 | 平成29年10月3日ヒア 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年12月13日ヒア |
| S136 | 平成28年12月16日 | 第423回会合 | 既往津波について発電所の潮位計の記録も含めて文献を充実すること。 | 津波 | 平成29年3月13日ヒア 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| S137 | 平成28年12月16日 | 第423回会合 | 津波痕跡高が比較的高いものの敷地周辺の津波痕跡地点として示していない理由を説明すること。 | 津波 | 平成29年3月13日ヒア 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| S138 | 平成28年12月16日 | 第423回会合 | 海域活断層のうちF-III～F-V断層については、地震動評価の審査結果を反映すること。 | 津波 | 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| S139 | 平成28年12月16日 | 第423回会合 | 断層上縁深さの検討ケースの考え方について説明するとともに、日本海東縁部に想定される地震による津波について、断層上縁深さを1kmとした場合の検討を実施すること。 | 津波 | 平成29年3月13日ヒア 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|--|----|---|
| S140 | 平成28年12月16日 | 第423回会合 | 国土交通省・内閣府・文部科学省(2014)において、鳥取県に影響が大きいとされているF17断層及びF28断層について、津波の敷地への影響を確認すること。 | 津波 | 平成29年3月13日ヒア 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| S141 | 平成28年12月16日 | 第423回会合 | 島根県(2012)の波源による津波の敷地への影響を確認すること。 | 津波 | 平成29年3月13日ヒア 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| S142 | 平成28年12月16日 | 第423回会合 | 日本海東縁部に想定される地震による津波については、津波伝播経路を考慮したうえで科学的想像力を発揮し、想定する地震規模・波源位置等について検討すること。 | 津波 | 平成29年3月13日ヒア 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| S143 | 平成28年12月16日 | 第423回会合 | 津波堆積物調査について、「山陰での津波堆積物調査とその結果」など、最新の知見を整理し、津波の敷地への影響を考察すること。 | 津波 | 平成29年3月13日ヒア 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| S144 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 中国地域の長期評価(H28年7月)の引用文献で使用されている1/40,000の空中写真も含め、事業者の変動地形学的調査に使用した空中写真、地形図を示すこと。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S145 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 変位地形・リニアメントの判読基準について、地形要素(風隙等)に関する内容を充実させること。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S146 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 変位地形・リニアメント等について、個別具体的な評価を示すこと。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S147 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 谷の屈曲量・屈曲率について、下宇部尾東以東のデータを追加し、考察すること。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|------------|--|----|---|
| S148 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 森山について、複数の調査結果により、総合的に断層活動性を評価すること。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S149 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 遊離酸化鉄分析の結晶化指数の測定精度について考察すること。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S150 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 永塚(1973)の赤色土に分類される森山断層露頭の崖錐堆積物3層と松江地域周辺のローム層との比較について、堆積物の相違も含めて考察すること。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S151 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 森山断層露頭の崖錐堆積物3層について、極微量の火山灰を同定するための分析を行うこと。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S152 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 宇井～福浦の間のルートマップ及び地質断面図を示すこと。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S153 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 高尾山南側のLoc.T-1において認められる断層及びその延長部について、調査範囲を拡大して断層活動性を評価すること。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| S154 | 平成29年2月17日 | 第443回会合 | 島根半島東部の地質・地質構造について、文献調査を行うとともに、事業者の調査結果の妥当性を示すこと。 | 地震 | 平成29年3月6日ヒア 平成29年3月13日ヒア 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|---|----|---|
| S155 | 平成29年6月9日 | 第474回会合 | 田力ほか(2016)の知見も踏まえ、島根半島東部の変動地形学的観点による検討を行うこと。 | 地震 | 平成29年7月5日ヒア 平成29年7月12日ヒア 平成29年7月18日ヒア 平成29年7月28日会合 |
| S156 | 平成29年6月9日 | 第474回会合 | 森山北のボーリング調査及びピット調査の詳細な調査結果を示すこと。 | 地震 | 平成29年7月5日ヒア 平成29年7月12日ヒア 平成29年7月18日ヒア 平成29年7月28日会合 |
| S157 | 平成29年6月9日 | 第474回会合 | 森山付近の造成地等における今村・向吉(2017)と事業者の評価の差異を露頭スケッチ等のデータを拡充したうえで説明すること。 | 地震 | 平成29年7月5日ヒア 平成29年7月12日ヒア 平成29年7月18日ヒア 平成29年7月28日会合 |
| S158 | 平成29年6月9日 | 第474回会合 | Loc.T-1付近の採石場について、現状の写真とスケッチではその評価が明確な証拠となっていないことからデータを拡充すること。 | 地震 | 平成29年7月5日ヒア 平成29年7月12日ヒア 平成29年7月18日ヒア 平成29年7月28日会合 |
| S159 | 平成29年6月9日 | 第474回会合 | 島根半島東部において分水界と背斜軸が概ね一致していることを踏まえ、当該地点の褶曲の活動時期について検討を行うこと。 | 地震 | 平成29年7月12日ヒア 平成29年7月18日ヒア 平成29年7月28日会合 |
| S160 | 平成29年7月28日 | 第491回会合 | 宍道断層と鳥取沖西部断層の関連性について、音波探査記録や重力異常等の必要なデータを整理して説明すること。 | 地震 | 平成29年8月2日ヒア 平成29年8月22日ヒア 平成29年9月11日ヒア 平成29年9月19日ヒア 平成29年9月29日会合 |
| S161 | 平成29年7月28日 | 第491回会合 | 断層露頭⑥-2の熱水変質部におけるX線回折分析の結果、斜長石等が認められることから、あまり変質していない可能性もあるため、詳細に検討すること。 | 地震 | 平成29年8月28日 現地確認 平成29年9月11日ヒア 平成29年9月19日ヒア 平成29年9月29日会合 |
| S162 | 平成29年9月29日 | 第515回会合 | 宍道断層と鳥取沖西部断層が連動しないとの評価に至った根拠の記載方法を充実・適正化すること。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| S163 | 平成29年10月27日 | 第524回会合 | 地震発生層の下限深さについて、設定根拠として震源インバージョン解析結果を追加するとともに、具体的かつ明確に設定根拠を示すこと。 | 地震 | 平成29年11月8日ヒア 平成29年11月16日ヒア 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| S164 | 平成29年10月27日 | 第524回会合 | 宍道断層による地震の地震動評価ケースについて、第414回審査会合(平成28年11月11日)において考慮していた「破壊伝播区間の不確かさを考慮したケース」の取り扱いを検討すること。 | 地震 | 平成29年11月16日ヒア 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| S165 | 平成29年10月27日 | 第524回会合 | F-Ⅲ断層+F-Ⅳ断層+F-Ⅴ断層による地震について、地質調査結果を考慮して断層傾斜角を設定したケースについても検討すること。また、横ずれの断層活動の根拠としている応力場のデータを示すこと。 | 地震 | 平成29年11月8日ヒア 平成29年11月16日ヒア 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| S166 | 平成30年2月2日 | 第544回会合 | 断層モデル手法による基準地震動の検討における対象周期帯の考え方について説明すること。 | 地震 | 平成30年2月7日ヒア 平成30年2月16日会合 |
| S167 | 平成30年2月2日 | 第544回会合 | 断層モデル手法による基準地震動の検討において、対象地震動選定(応答スペクトルのピークを採用)とSs-F設定(応答スペクトル比の平均を採用)の考え方が異なっているため、考え方を整理すること。 | 地震 | 平成30年2月7日ヒア 平成30年2月16日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|------------|--|----|--|
| S168 | 平成30年2月2日 | 第544回会合 | 水平方向の応答スペクトル比の算出方法について、NS,EW方向の大きい方を用いて算出していること理由を記載すること。 | 地震 | 平成30年2月7日ヒア 平成30年2月16日会合 |
| S169 | 平成30年2月2日 | 第544回会合 | 断層モデル手法による基準地震動の設定根拠としている応答スペクトル比について、選定波のみではなく全地震動評価ケースの値を示すこと。 | 地震 | 平成30年2月7日ヒア 平成30年2月16日会合 |
| S170 | 平成30年2月2日 | 第544回会合 | 断層モデル手法による基準地震動の検討において、水平方向の検討結果を重視する理由について記載を充実させること。 | 地震 | 平成30年2月7日ヒア 平成30年2月16日会合 |
| S171 | 平成30年4月6日 | 第563回会合 | 地震発生領域の連動を考慮した検討におけるパラメータスタディについては、敷地へ最も影響の大きいケースを選定する観点から、パラメータスタディの考え方を整理し、検討すること。 | 津波 | 平成30年4月24日ヒア 平成30年5月8日ヒア 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 |
| S172 | 平成30年4月6日 | 第563回会合 | 鳥取県(2012)及び島根県(2012)のパラメータについて、地震発生領域の連動を考慮した検討の波源モデルとの比較を含めて示すこと。 | 津波 | 平成30年4月24日ヒア 平成30年5月8日ヒア 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S173 | 平成30年4月6日 | 第563回会合 | 津波堆積物調査の文献については、津波堆積物標高だけでなくイベント堆積物の層厚に着目し、見解を示すこと。 | 津波 | 平成30年4月24日ヒア 平成30年5月8日ヒア 平成30年5月25日会合 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S174 | 平成30年4月6日 | 第563回会合 | 防波堤がない場合の基準津波の選定への影響について検討すること。 | 津波 | 平成30年4月24日ヒア 平成30年5月8日ヒア 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S175 | 平成30年4月27日 | 第566回会合 | 宍道断層による地震のロジックツリーの評価ケースの分岐について、アスペリティ位置の不確かさの影響を検討すること。 | 地震 | 平成30年5月23日ヒア 平成30年6月1日会合 |
| S176 | 平成30年4月27日 | 第566回会合 | 基準地震動 S_s-F1 及び S_s-F2 の年超過確率を示すこと。 | 地震 | 平成30年5月23日ヒア 平成30年6月1日会合 |
| S177 | 平成30年5月25日 | 第575回会合 | 大すべり域位置を更に細かく移動させたパラメータスタディを実施し、敷地へ最も影響の大きいケースを抽出していることを示すこと。 | 津波 | 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 |
| S178 | 平成30年5月25日 | 第575回会合 | パラメータスタディの影響検討においては、追加で実施した検討を踏まえ、敷地に与える影響が最も大きいケースを選定していることを確認すること。 | 津波 | 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|------------|--|----|---|
| S179 | 平成30年5月25日 | 第575回会合 | 地震発生領域の運動を考慮した検討については、すべり量及びすべりの均質・不均質性の観点からもデータを示したうえで波源モデル設定の妥当性を示すこと。 | 津波 | 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S180 | 平成30年5月25日 | 第575回会合 | 米子空港周辺地点の津波堆積物評価に当たっては、2011年東北地方太平洋沖地震における仙台平野の知見も踏まえて検討すること。また、津波が川沿いを遡上した事例の知見について、文献調査などにより説明を充実すること。 | 津波 | 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S181 | 平成30年5月25日 | 第575回会合 | 津波堆積物調査に関する聞き取り結果については、聞き取り内容に対する見解を示すこと。 | 津波 | 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S182 | 平成30年5月25日 | 第575回会合 | 米子空港周辺地点における1833年当時の推定地形及び津波堆積物の分布標高の根拠を示すこと。 | 津波 | 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S183 | 平成30年5月25日 | 第575回会合 | 基準津波のシミュレーション結果との比較では、津波の痕跡高も含めて基準津波の選定結果の検証を行うこと。また、痕跡高との比較においては、鳥取県内の痕跡高等も含め、総合的に評価すること。 | 津波 | 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S184 | 平成30年5月25日 | 第575回会合 | 防波堤がない場合に、基準津波の選定へ影響がある場合については、その波源を基準津波として設定すること。 | 津波 | 平成30年6月12日ヒア 平成30年6月26日ヒア 平成30年7月20日会合 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S185 | 平成30年6月1日 | 第579回会合 | まとめ資料の作成に当たっては、宍道断層による地震のアスペリティ位置の不確かさをロジックツリーの分岐として考慮しない理由を宍道断層による地震のロジックツリーのページにも記載すること。 | 地震 | |
| S186 | 平成30年6月1日 | 第579回会合 | まとめ資料の作成に当たっては、基準地震動 S_s-F1 及び S_s-F2 の年超過確率について、基準地震動 S_s-D との関係を踏まえて記載すること。 | 地震 | |
| S187 | 平成30年6月1日 | 第579回会合 | まとめ資料の作成に当たっては、一様ハザードスペクトルと基準地震動 S_s の比較において、基準地震動 S_s-N1 及び S_s-N2 の応答スペクトルは削除すること。 | 地震 | |
| S188 | 平成30年7月20日 | 第605回会合 | 鳥取県(2012)の波源モデルを採用するにあたっては、必要な最新の科学的・技術的知見を踏まえ、その位置づけについて説明すること。また、日本海東縁部の検討におけるパラメータ設定の考え方を示すこと。 | 津波 | 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S189 | 平成30年7月20日 | 第605回会合 | 取水口、取水槽での呑口水位の判断基準を図示するとともに、取水性の確保について説明すること。 | 津波 | 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |
| S190 | 平成30年7月20日 | 第605回会合 | 防波堤無しの場合の検討に関して、ケース選定の妥当性を説明すること。 | 津波 | 平成30年8月21日ヒア 平成30年9月5日ヒア 平成30年9月28日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|---|----|---|
| S191 | 平成30年9月28日 | 第632回会合 | 基準津波選定の妥当性については理解したが、1833年山形・庄内沖地震津波の餘子神社及び米子空港周辺の痕跡高等を概ね再現できる津波が敷地(島根原子力発電所)に大きな影響を与えないことを確認することにより、基準津波の選定に影響が無いとしたことが分かるよう記載を整理すること。 | 津波 | 平成30年10月23日ヒア 平成30年11月6日ヒア |
| S192 | 平成30年12月14日 | 第662回会合 | 海域活断層について適用しているスケーリング則を明記し、影響が大きいとしている「津波評価技術」の式を適用している考え方を説明すること。 | 津波 | 平成31年1月9日ヒア 平成31年1月18日会合 |
| S193 | 平成30年12月14日 | 第662回会合 | 領域震源に想定される地震による津波を検討対象外とする考え方については、敷地周辺の主な海域活断層との位置関係等と比較を行ったうえで、整理すること。 | 津波 | 平成31年1月9日ヒア 平成31年1月18日会合 |
| S194 | 平成30年12月14日 | 第662回会合 | 敷地周辺の主な海域活断層のスクリーニングにおける各断層の数値シミュレーションの検討ケースの考え方を示すこと。 | 津波 | 平成31年1月9日ヒア 平成31年1月18日会合 |
| S195 | 平成30年12月14日 | 第662回会合 | モンテカルロ法のサンプル数の妥当性を感度解析により説明すること。 | 津波 | 平成31年1月9日ヒア 平成31年1月18日会合 |
| S196 | 令和元年5月21日 | 第715回会合 | 入力津波の設定において、1号放水連絡通路防波扉は基準津波の策定の評価地点として設定されていないため、当該地点での基準津波の波源の選定結果を地震・津波の審査会合において説明すること。 | 津波 | 令和元年6月3日ヒア 令和元年6月19日ヒア 令和元年6月28日会合 令和元年7月31日ヒア 令和元年8月20日ヒア 令和元年9月13日会合 |
| S197 | 令和元年6月28日 | 第737回会合 | 「施設護岸又は防波壁」に「1号放水口護岸又は1号放水連絡通路防波扉」を含めて評価地点とする考え方と評価地点の変更に至った経緯について記載を充実すること。 | 津波 | 令和元年7月31日ヒア 令和元年8月20日ヒア 令和元年9月13日会合 |
| S198 | 令和元年6月28日 | 第737回会合 | 「1号放水口護岸又は1号放水連絡通路防波扉」に着目したパラメータスタディを実施し、「施設護岸又は防波壁」に「1号放水口護岸又は1号放水連絡通路防波扉」を含めて評価することが妥当かを説明すること。 | 津波 | 令和元年7月31日ヒア 令和元年8月20日ヒア 令和元年9月13日会合 |
| S199 | 令和元年7月2日 | 第739回会合 | 防波壁の擦り付け部に係る斜面において、1号炉放水連絡通路及び1・2号放水施設等に影響を及ぼす観点を含め、地質学的な考察に基づく断面選定の考え方等の周辺斜面の安定性評価について説明すること。 | 地盤 | 令和元年8月7日ヒア 令和元年8月20日ヒア 令和元年8月30日会合 |
| S200 | 令和元年7月2日 | 第739回会合 | 防波壁の擦り付け部の地山については、人工物ではないが津波防護施設と同等の機能を有していることから、他断面で代表させずにそれぞれ個別に断面選定し、1号放水連絡通路等の人工物への影響も含め、安定性評価を行うこと。 | 地盤 | 令和元年8月7日ヒア 令和元年8月20日ヒア 令和元年8月30日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-----------|----------------|---|----|--|
| S201 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 防波壁(西端部)の地山における表層すべりの層厚について記載を適正化すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S202 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 防波壁(西端部)における礫質土及び粘性土の物性設定について、妥当性を説明すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S203 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 東日本大震災, 新潟県中越沖地震等, 過去の地震や津波による斜面の崩落の事例を整理して示すこと。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S204 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 防波壁端部斜面の安定性上考慮する必要がある弱層の有無について、ボーリング, 露頭調査結果等の地質データを踏まえて説明すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S205 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 地質断面図について、シーム層準とシームの違いが分かるように適正化すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S206 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 安定性評価フローについて、防波壁(東端部)と防波壁(西端部)の斜面でそれぞれ評価対象斜面を選定するよう、適正化すること。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S207 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 防波壁(西端部)の斜面(⑥-⑥'断面)頂部のすべり方向について、地形だけでなく、地質構造(層理面沿いのすべり)も踏まえて検討すること。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S208 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 防波壁(東端部)の斜面(①-①'断面, ⑤-⑤'断面)について、ボーリング, 露頭調査結果等の地質データを踏まえ、表層における低位岩級の分布の設定方法を詳細に説明すること。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S209 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | 1号放水連絡通路防波扉の背後斜面(⑤-⑤'断面)について、急勾配部や1号炉放水連絡通路の斜面安定性への影響を確認するため、動的解析を実施すること。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S210 | 令和元年8月30日 | 第762回会合 | すべり安全率について、最小ケース以外も整理して示すこと。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S211 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | 防災科研調査結果の地滑り地形①の範囲については、開削面露頭上部の礫質土に認められる黒色の層や凝灰岩と思われる礫の分布も踏まえて観察事実を整理するとともに、より詳細なルートマップを作成した上で、地形・地質の観点から表層すべりの有無について整理すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S212 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | ボーリングコア及び露頭において確認された局所的に岩級の低い凝灰岩について、その性状や連続性を確認するとともに、斜面の安定性評価への反映について検討すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S213 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | ボーリングコア(19W1等)及び開削面露頭において確認されたドレライトを露頭観察結果(スケッチ等)に反映すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S214 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | 防波壁(西端部)の開削面露頭及びボーリングコア(19W5)において確認された凝灰岩について、溶結構造の有無を確認すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S215 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | ボーリングコア(303)の深度79.33m以深のドレライトの細脈については、高帯磁率を呈することから、その成因について地質学的な観点から整理し説明すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|------------|--|----|---|
| S216 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | 代表的な岩級の写真を示す等により、岩級区分の妥当性を説明すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S217 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | 防波壁の西端部及び東端部の露頭においてスランプ褶曲が認められることから、分布する層準について整理すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S218 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | 2号原子炉建物西側背後斜面に確認された過褶曲構造については、追加観察結果を資料化すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S219 | 令和元年9月20日 | 現地調査 | 今回の現地調査で説明したボーリングデータを提示すること。 | 地盤 | 令和元年10月29日ヒア 令和元年11月11日ヒア 令和元年11月22日会合 |
| S220 | 令和元年11月22日 | 第802回会合 | 地震や津波による斜面崩壊に影響する地形に関して整理した結果を踏まえ、敷地内における該当地形の有無を示すこと。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S221 | 令和元年11月22日 | 第802回会合 | 防波壁(西端部)の斜面(⑥-⑥'断面)における標高40m付近より上方の斜面の崩積土の分布について、エビデンスを提示して説明すること。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S222 | 令和元年11月22日 | 第802回会合 | 防波壁(西端部)の斜面(⑥-⑥'断面)において、割れ目密集帯を含む層理面沿いの弱面について十分に整理して説明すること。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S223 | 令和元年11月22日 | 第802回会合 | 防波壁(西端部)の斜面(⑥-⑥'断面)について、切取後の地形や表層土の分布を反映した上で、地質断面図をどのように分類してモデル化するか、使用する物性値も含めて整理して説明すること。 | 地盤 | 令和元年12月16日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年2月28日会合 |
| S224 | 令和2年1月24日 | 第827回会合 | 階段ダイアグラムの噴出量について、既往文献(山元(2017)等)の情報も含めて整理すること。 | 火山 | 令和2年2月10日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年5月14日会合 |
| S225 | 令和2年1月24日 | 第827回会合 | 高噴出率期と低噴出率期の評価にあたっては、ピアレビューを受けた公表論文(Yamamoto and Hoang(2019))も参照すること。 | 火山 | 令和2年2月10日ヒア 令和2年2月19日ヒア 令和2年5月14日会合 |
| S226 | 令和2年1月24日 | 第827回会合 | 降灰層厚として評価できないとした土師地点及び大屋地点の調査結果についても資料集(補足説明)に追加すること。 | 火山 | 令和2年7月9日ヒア 令和2年7月27日ヒア 令和2年8月18日ヒア 令和2年9月18日会合 |
| S227 | 令和2年1月24日 | 第827回会合 | 神吉地点のボーリング調査結果について、層厚を評価した部分を明確にするとともに柱状図や写真などのデータも添付すること。 | 火山 | 令和2年7月9日ヒア 令和2年7月27日ヒア 令和2年8月18日ヒア 令和2年9月18日会合 |
| S228 | 令和2年2月28日 | 第841回会合 | 露頭調査24地点のD級岩盤の評価について、スケッチ等を追加し説明すること。 | 地盤 | |
| S229 | 令和2年5月14日 | 第860回会合 | 三瓶山の防災科学技術研究所による地震波速度構造モデルなどの地球物理学的調査に関する知見を反映すること。 | 火山 | 令和2年7月9日ヒア 令和2年7月27日ヒア 令和2年8月18日ヒア 令和2年9月18日会合 |
| S230 | 令和2年5月14日 | 第860回会合 | 三瓶浮布テフラ及び大山生竹テフラの等層厚線図とシミュレーション結果の対比を行い、火山灰シミュレーションのパラメータ設定の妥当性を確認すること。 | 火山 | 令和2年7月9日ヒア 令和2年7月27日ヒア 令和2年8月18日ヒア 令和2年9月18日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-----------|------------|---|----|---|
| S231 | 令和2年5月14日 | 第860回会合 | 三瓶浮布テフラの噴出規模の考え方を再度示すこと。 | 火山 | 令和2年7月9日ヒア 令和2年7月27日ヒア 令和2年8月18日ヒア 令和2年9月18日会合 |
| S232 | 令和2年5月14日 | 第860回会合 | 前回の審査会合(平成28年4月28日)以降に発表された最新の知見を収集し資料に反映すること。 | 火山 | 令和2年7月9日ヒア 令和2年7月27日ヒア 令和2年8月18日ヒア 令和2年9月18日会合 |
| S233 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | 代表施設や評価対象断面以外の各施設・断面のすべり安定性評価について、代表施設や評価対象断面の評価に代表できる理由を詳細に記載すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S234 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における検討断面の設定の考え方について詳細に記載すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S235 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | 防波壁の構造の詳細を説明すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S236 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | 各施設をモデル化する際の手順とパラメータ等の詳細を説明すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S237 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | 周辺斜面の地下水位の設定方針及び液状化の考え方について説明すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S238 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | 防波壁(多重鋼管杭式擁壁)における杭の支持力の設計方法及び計算プロセスを説明すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S239 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | 敷地に分布する埋戻土の物性設定について詳細を説明すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S240 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | 局所安全係数分布図において、せん断強度に達した要素等を通るすべり面を設定しない理由を説明すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S241 | 令和2年6月19日 | 第868回会合 | すべり安全率一覧表において、各すべり安全率の時刻を記載すること。 | 地盤 | 令和2年7月15日ヒア 令和2年8月5日ヒア 令和2年8月26日ヒア |
| S242 | 令和2年9月18日 | 第900回会合 | 三瓶浮布テフラの層厚検討に用いた算定式と文献で確認できる降灰層厚との関係を示し、算定式の妥当性を説明すること。また、三瓶浮布テフラの噴出量の妥当性を確認した等層厚線図についても、文献で確認できる降灰層厚を追加記載すること。 | 火山 | 令和2年10月14日ヒア 令和2年11月11日ヒア |
| S243 | 令和2年9月18日 | 第900回会合 | 三瓶浮布テフラの敷地周辺の地質調査結果を記載すること。 | 火山 | 令和2年10月14日ヒア 令和2年11月11日ヒア |
| S244 | 令和2年9月18日 | 第900回会合 | 敷地内調査における降下火砕物の確認状況について説明すること。 | 火山 | 令和2年10月14日ヒア 令和2年11月11日ヒア |
| S245 | 令和2年9月18日 | 第900回会合 | 第四紀火山の抽出と火山の統合における文献の取扱いを整理し、説明すること。 | 火山 | 令和2年10月14日ヒア 令和2年11月11日ヒア |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|------------|---|------|--|
| S246 | 令和2年9月18日 | 第900回会合 | 鬼界カルデラの噴火ステージに関する記載を適正化すること。 | 火山 | 令和2年10月14日ヒア 令和2年11月11日ヒア |
| S247 | 令和2年9月18日 | 第900回会合 | 三瓶山の降下火砕物の影響評価における噴火規模の想定について、噴火史も含めて系統的に説明すること。 | 火山 | 令和2年10月14日ヒア 令和2年11月11日ヒア |
| S248 | 令和2年10月16日 | 第910回会合 | 基礎地盤の安定性評価については、液状化影響を考慮したケースの位置付けを明確にしたうえで、液状化影響を考慮し、最も厳しいすべり面の網羅的な探索及び選定を行うこと。 | 地盤 | 令和2年11月19日ヒア |
| S249 | 令和2年10月16日 | 第910回会合 | 2次元浸透流解析に用いた水頭固定境界の設定範囲の根拠及びその妥当性について、降雨及び地下水位の流れ等の影響を含めて説明すること。 | 地盤 | 令和2年11月19日ヒア |
| S250 | 令和2年10月16日 | 第910回会合 | 盛土中の地下水位の長期的なトレンドを確認するため、ボーリング等の地下水位観測に関連するデータを拡充すること。 | 地盤 | 令和2年11月19日ヒア |
| S251 | 令和2年10月16日 | 第910回会合 | 2号炉南側盛土斜面の液状化影響検討について、すべり安定性評価におけるすべり面選定の考え方を説明すること。また、ばらつき強度の結果を示すこと。 | 地盤 | 令和2年11月19日ヒア |
| S252 | 令和2年10月16日 | 第910回会合 | 防波壁基礎地盤の安定性評価においては、「島根原子力発電所2号炉 津波による損傷の防止 防波壁の構造についての設計方針及び構造成立性」の審査を踏まえ、安定性評価に影響する重量等を考慮して評価すること。 | 地盤 | 令和2年11月19日ヒア |
| H1 | 平成26年1月8日 | 第1回ヒア | 断層の活動性については、後期更新世以降の活動性を認定している断層の延長部において作成されている反射断面について、更新世中期(約40万年前以降)における活動性を検討すること。また、後期更新世以降の活動性を否定している断層については、更新世中期における活動性を検討すること。 | 地震 | 平成26年2月20日会合 平成26年3月19日会合 |
| H2 | 平成26年1月8日 | 第1回ヒア | 宍道断層と鳥取沖西部断層や鳥取沖東部断層との連続性に関する検討内容を説明すること。 | 地震 | 平成26年2月20日会合 平成26年3月19日会合 |
| H3 | 平成26年1月8日 | 第1回ヒア | 敷地内で認められるシームについて、新第三紀中新世の南北圧縮応力場での褶曲運動に伴う層面すべりで形成されたとする解釈のみでなく、シームそのものに関する地質学的な証拠をもって、詳細に説明すること。 | 地盤 | 平成26年3月4日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H4 | 平成26年1月8日 | 第1回ヒア | 地震動評価を水平成層構造で評価しているが、敷地下に存在する褶曲構造による影響がないことを検討した解析結果を示すこと。 | 地下構造 | 平成26年4月11日ヒア 平成26年4月16日会合 |
| H5 | 平成26年1月8日 | 第1回ヒア | 基準津波の策定に当たって、陸上地すべり等との重ね合わせについての検討内容を説明すること。 | 津波 | 平成26年3月13日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H6 | 平成26年1月8日 | 第1回ヒア | 隠岐の島の火山の山体崩壊が、敷地方向に向かって崩壊しないとする理由を説明すること。 | 津波 | 平成26年3月13日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H7 | 平成26年1月30日 | 第2回ヒア | 敷地周辺海域の活断層評価については、海上音波探査記録を提出すること。 | 地震 | 平成26年2月10日ヒア 平成26年2月25日ヒア 平成26年3月19日会合 |
| H8 | 平成26年1月30日 | 第2回ヒア | 宍道断層の端部の評価については、調査方法や調査地点の妥当性を、調査データを提示しつつ説明すること。 | 地震 | 平成26年2月10日ヒア 平成26年2月20日会合 |
| H9 | 平成26年1月30日 | 第2回ヒア | 敷地周辺の重力異常図については、最新のデータを利用すること。 | 地震 | 平成26年2月10日ヒア 平成26年2月20日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|------------|------------|---|------|---|
| H10 | 平成26年1月30日 | 第2回ヒア | 敷地地盤が水平成層構造と見なす根拠を説明すること。 | 地下構造 | 平成26年3月4日ヒア 平成26年4月11日ヒア 平成26年4月16日会合 |
| H11 | 平成26年2月10日 | 第3回ヒア | 宍道断層の評価における下宇部尾東の調査結果については、地質分布についての情報を追加すること。 | 地震 | 平成26年2月20日会合 |
| H12 | 平成26年2月10日 | 第3回ヒア | 宍道断層の東端の評価における森山周辺の調査結果については、断層運動との関係を確認するため、基盤岩の高まりが見られる地点及び断層が通過すると推定されている地点の詳細なデータを提示すること。 | 地震 | 平成26年2月20日会合 |
| H13 | 平成26年2月10日 | 第3回ヒア | 周辺断層等のスクリーニングについては、その考え方を資料に反映させるとともに、各々の判断根拠についてヒアリングの場で確認していくこととする。ただし、大社衝上断層については審査会合での検討対象とするとともに、同断層の西端としている測線の更に西側の音波探査結果を提示すること。 | 地震 | 平成26年2月20日会合 |
| H14 | 平成26年2月10日 | 第3回ヒア | 宍道断層は横ずれ断層であり、その活動性をみかけの上下変位量のみで判断することは適切ではないため、横ずれによる影響を踏まえて検討すること。 | 地震 | 平成26年2月20日会合 |
| H15 | 平成26年2月25日 | 第4回ヒア | 地質年代について、その根拠とした地質データを提示し、評価の考え方を説明すること。 | 地震 | 平成26年3月19日会合 |
| H16 | 平成26年2月25日 | 第4回ヒア | 耐震設計上考慮する活断層の端部を判断している反射断面の解釈について、その周辺の断面も示し、それらの断面の比較を含めた評価内容を説明すること。 | 地震 | 平成26年3月19日会合 |
| H17 | 平成26年2月25日 | 第4回ヒア | 検討用地震選定の対象としている活断層の地質・地質構造については、詳細に説明すること。 | 地震 | 平成26年3月19日会合 |
| H18 | 平成26年3月4日 | 第5回ヒア | 2号原子炉施設に関する地質データを補完するとともに、3号増設時の地質データで説明する考え方を説明すること。 | 地盤 | 平成26年4月17日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H19 | 平成26年3月4日 | 第5回ヒア | 松江層とその上位層との不整合関係が認められる露頭のような情報について、もっとサイトに近い地点のものはないか。今回示された和久羅山の露頭では遠いため、評価の根拠としては弱い。 | 地盤 | 平成26年4月17日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H20 | 平成26年3月4日 | 第5回ヒア | シームの性状、形状、連続性等の認定について、基となった地質調査データを提示し、その考え方を説明すること。 | 地盤 | 平成26年4月17日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H21 | 平成26年3月4日 | 第5回ヒア | B23シームの代表性を説明すること。 | 地盤 | 平成26年4月17日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H22 | 平成26年3月4日 | 第5回ヒア | 地下構造モデルを設定するに当たっては、敷地南部及び南方に分布する褶曲構造を考慮する必要があるか確認すること。 | 地下構造 | 平成26年4月11日ヒア 平成26年4月16日会合 |
| H23 | 平成26年3月4日 | 第5回ヒア | 主要地震動による到来方向別の異方性に関する検討をすること。 | 地下構造 | 平成26年4月11日ヒア 平成26年4月16日会合 |
| H24 | 平成26年3月4日 | 第5回ヒア | 大深度ボーリングによる確認内容を提示すること。 | 地下構造 | 平成26年4月11日ヒア 平成26年4月16日会合 |
| H25 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 基準津波の策定において、取水口における高さではなく、取水ポンプの取水可能高さを評価基準とすること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H26 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 既往津波の再現性検討においては、その信頼性の検証が必要であるが、島根半島のみではデータ数が少ないため、更に広域のデータを収集して検討すること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|------------|------------|--|----|--|
| H27 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 観測された波高と計算値にバラツキが認められるため、再現性検討について再検討すること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H28 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 既往津波の再現性検討における格子分割については、海底地形等も考慮して細分化すること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H29 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 日本海東縁部の検討に使用しているパラメータについては、その根拠を説明すること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H30 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 評価対象としている海底地すべり地形の選定過程を示すこと。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H31 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 海底地すべり地形の選定結果を検討するため、当該地形を横切る海上音波探査記録を提示すること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H32 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 海底地すべり地形の規模の考え方について説明すること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H33 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 陸上地すべり地形分布図データベース等と判読した陸上地すべりを比較できるようにすること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H34 | 平成26年3月13日 | 第6回ヒア | 砂移動の検討については、全ての基準津波について検討すること。また、海水ポンプ室における堆積が時系列で見られるようにすること。 | 津波 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア |
| H35 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | 追加調査については、測線ごとに既存データを踏まえた計画を立て、調査方法の妥当性を示すこと。 | 地震 | 平成26年4月9日会合 |
| H36 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | 美保湾内の調査では、可能な限り海岸線までの測定を行うこと。 | 地震 | 平成26年4月9日会合 |
| H37 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | F-Ⅲ～FK-2断層の調査においては、浅部にターゲットを持つてくること。 | 地震 | 平成26年4月9日会合 |
| H38 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | 大田沖断層については、西端の測線を北方に延長すること。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年5月1日会合 |
| H39 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | 海陸境界付近のデータ空白域を断層が通過する可能性を否定できないことから、データ拡充を行うこと。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H40 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | 推定活断層(中田ほか(2008))の評価に当たっては、男島付近以西の地質・地質構造を踏まえた検討を行うこと。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H41 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | 下宇部尾東の調査については、調査範囲を広げること。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|------------|------------|---|------|--|
| H42 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | 調査結果については、貫入境界やリニアメント部分等の重要部分についての写真やデータを提示すること。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H43 | 平成26年4月4日 | 第7回ヒア | 断層の端部については、広めに調査を行うこと。 | 地震 | 平成26年4月17日ヒア 平成26年4月25日ヒア 平成26年5月1日会合 平成26年12月24日ヒア 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H44 | 平成26年4月11日 | 第8回ヒア | 傾斜による増幅特性の評価に当たっては、2号炉のみではなく3号炉の一次元地下構造モデルとの比較も含めた評価を行うこと。 | 地下構造 | 平成26年11月21日会合 平成27年1月14日ヒア |
| H45 | 平成26年4月11日 | 第8回ヒア | 敷地地盤の傾斜について、解析に用いている断面が最大傾斜方向に近いことがわかる資料を追加すること。 | 地下構造 | 平成26年4月16日会合 |
| H46 | 平成26年4月11日 | 第8回ヒア | 地震観測記録には地震の入射角と方位角を記載すること。 | 地下構造 | 平成26年4月16日会合 |
| H47 | 平成26年4月11日 | 第8回ヒア | 速度層断面図に物性値を記載するとともに、ボーリングデータ調査によって得られたデータを併記すること。 | 地下構造 | 平成26年4月16日会合 |
| H48 | 平成26年4月11日 | 第8回ヒア | 二次元地下構造モデルについては、地震観測データによる妥当性の確認を行うこと。 | 地下構造 | 平成26年9月5日会合 平成26年11月21日会合 |
| H49 | 平成26年4月17日 | 第9回ヒア | 敷地内シームの評価において、シームと貫入岩(岩脈)との切断関係等を根拠に活動性を否定しているが、どのような判断に基づいているのかを詳細に説明すること。 | 地盤 | 平成26年5月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H50 | 平成26年4月25日 | 第10回ヒア | 追加調査を行うに当たっては、その目的を明確にした上で調査方法、範囲等を決定すること。 | 地震 | 平成26年5月1日会合 |
| H51 | 平成26年5月21日 | 第11回ヒア | 敷地内のシームが褶曲運動に伴う層面すべりにより形成されたと解釈するのであれば、敷地周辺において褶曲の成長が既に停止したことを示す地質学的な証拠を提示すること。 | 地盤 | 平成26年12月15日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H52 | 平成26年5月21日 | 第11回ヒア | シーム分析結果については、イライト/スメクタイト混合鉱物の含有量等の詳細分析を行い、それぞれのボーリングコアのシームが同様の性状であることを示すこと。また、シーム周辺の母岩との違いの有無についても検討すること。 | 地盤 | 平成26年12月15日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H53 | 平成26年5月21日 | 第11回ヒア | 将来の活動性の評価を行うに当たっては、現在の応力場との比較だけでは将来の活動性を判断できないことに留意すること。 | 地盤 | 平成26年12月15日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H54 | 平成26年6月4日 | 第12回ヒア | 三瓶山からの降下火砕物評価において、過去最大規模(三瓶木次)の噴火を想定すべきではないか。活動の変化により噴火規模が低下していることや現在の活動状態が継続するのであれば、その根拠を示すこと。 | 火山 | 平成26年8月6日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H55 | 平成26年6月4日 | 第12回ヒア | 敷地近傍で確認されている降下火砕物に関する情報を示すこと。 | 火山 | 平成26年8月6日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H56 | 平成26年6月4日 | 第12回ヒア | 大山の低周波微小地震の発生源について重力異常との関係を含めて再確認すること。 | 火山 | 平成26年8月6日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H57 | 平成26年6月4日 | 第12回ヒア | 「破局的噴火」という用語は学術的には一般に使われていないので、出典を示すか定義を明確にすること。 | 火山 | 平成26年8月6日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H58 | 平成26年6月24日 | 第13回ヒア | 超過確率の参照については、震源を特定する地震動の評価結果を含めて示すこと。 | 地震 | 平成30年4月4日ヒア 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |
| H59 | 平成26年6月24日 | 第13回ヒア | 鳥取県西部地震の賀祥ダムの上下動成分の観測記録についての検討過程を示すこと。 | 地震 | 平成26年6月27日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|-----|-------------|------------|--|------|--------------------------------|
| H60 | 平成26年6月24日 | 第13回ヒア | 賀禰ダムにおける観測記録の代表性についての説明を充実させること。 | 地震 | 平成26年6月27日会合 |
| H61 | 平成26年8月6日 | 第14回ヒア | 三瓶山の階段ダイヤグラムについては、時間軸を省略しないこと。 | 火山 | 平成27年6月8日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H62 | 平成26年8月6日 | 第14回ヒア | 三瓶山起源のテフラについては、発電所の敷地の地形を考慮すると浸食等により削り取られた可能性もあることから、周辺の情報を収集して示すこと。 | 火山 | 平成27年6月8日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H63 | 平成26年8月6日 | 第14回ヒア | 三瓶山の活動性評価に関する地震波速度及び地震活動の考察については、現資料だけでは根拠として十分ではないことから、更なる資料の充実を図ること。 | 火山 | 平成27年6月8日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H64 | 平成26年8月6日 | 第14回ヒア | 火山灰アトラスだけに頼らず、自らが集めた周辺データを合わせて評価を行うこと。 | 火山 | 平成27年6月8日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H65 | 平成26年8月6日 | 第14回ヒア | 降下火砕物の評価については、活動性評価結果にかかわらず、敷地及び周辺調査から評価することが求められている。三瓶山の評価については、現在、評価対象外としているが、評価方法等も含め、引き続き検討すること。 | 火山 | 平成27年6月8日ヒア 平成27年6月12日会合 |
| H66 | 平成26年8月26日 | 第15回ヒア | 速度層構造と岩相区分及び岩級区分との対比結果について、考察を記載すること。 | 地下構造 | 平成26年9月5日会合 |
| H67 | 平成26年8月26日 | 第15回ヒア | 地震動評価に用いる地下構造モデルの増幅特性が、2号地点及び3号地点の地下構造モデルに対して、極一部の周期で不安全側になっているので、全周期帯で安全側になるように検討すること。 | 地下構造 | 平成26年9月5日会合 |
| H68 | 平成26年8月26日 | 第15回ヒア | 2号地点及び3号地点の地下構造モデルの層区分位置について、説明を追加すること。 | 地下構造 | 平成26年9月5日会合 |
| H69 | 平成26年8月26日 | 第15回ヒア | 2号地点の2次元地下構造モデルの妥当性確認について、観測と理論の対応が良くない表層部分の増幅特性について考察を示すこと。 | 地下構造 | 平成26年9月5日会合 |
| H70 | 平成26年10月22日 | 第17回ヒア | 2次元地下構造モデルによる2号敷地南側の速度構造の影響検討について、鉛直入射に加えて斜め入射でも検討すること。 | 地下構造 | 平成26年11月5日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| H71 | 平成26年11月5日 | 第18回ヒア | 2次元地下構造モデルにおける2号敷地南側の速度構造の影響について、地震基盤まで考慮した広域モデルにより検討すること。 | 地下構造 | 平成26年11月10日ヒア 平成26年11月21日会合 |
| H72 | 平成26年11月10日 | 第19回ヒア | 2次元地下構造モデルのメッシュの設定方法を示すこと。 | 地下構造 | 平成26年11月21日会合 |
| H73 | 平成26年12月15日 | 第21回ヒア | シームの最新活動面を特定したプロセスを示すとともに、最新活動面で鉱物脈が変形していないことを示すこと。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H74 | 平成26年12月15日 | 第21回ヒア | X線分析結果によると、母岩とシームで晶出する鉱物に差異が認められることから、薄片観察結果も踏まえ、シームの成因について考察すること。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H75 | 平成26年12月15日 | 第21回ヒア | 薄片観察で確認した鉱物の種類を特定するとともに、特定方法の妥当性も示すこと。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H76 | 平成26年12月15日 | 第21回ヒア | シームの固結度を確認するため、物性試験結果についても提示すること。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H77 | 平成26年12月24日 | 第22回ヒア | 下宇部尾東の群列ボーリングに認められた破碎部について観察性状と断層と判断した理由を示すこと。 | 地震 | 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H78 | 平成26年12月24日 | 第22回ヒア | 下宇部尾東において資料に記載した全てのボーリングについて、コア写真を示すこと。 | 地震 | 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H79 | 平成26年12月24日 | 第22回ヒア | 貫入岩について、岩盤との接触部の観察性状を示すこと。 | 地震 | 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H80 | 平成26年12月24日 | 第22回ヒア | 森山のトレンチ調査で確認されたA、B断層以外の断層及びその上載層の観察性状を示すこと。 | 地震 | 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|---|------|---|
| H81 | 平成26年12月24日 | 第22回ヒア | 森山のはぎ取り調査において確認された全ての断層について、観察性状を示すこと。 | 地震 | 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H82 | 平成26年12月24日 | 第22回ヒア | 森山のはぎ取り調査で確認された断層の走向傾斜延長のボーリングについて、全てのコア写真を示すこと。 | 地震 | 平成27年1月13日ヒア 平成27年1月16日会合 |
| H83 | 平成27年1月13日 | 第23回ヒア | 下宇部尾東のSE-5で認められた断層について、コア写真に対応するポアホールカメラの写真を示すこと。 | 地震 | 平成27年1月16日会合 |
| H84 | 平成27年1月13日 | 第23回ヒア | 森山の群列ボーリングにおける沖積層の年代値を示すこと。 | 地震 | 平成27年1月16日会合 |
| H85 | 平成27年1月13日 | 第23回ヒア | 女島においてボーリング地点の南側の地層の急傾斜部における断層の存否について説明すること。 | 地震 | 平成27年1月16日会合 |
| H86 | 平成27年1月14日 | 第24回ヒア | 2号及び3号地盤の解放基盤表面におけるはぎとり波を比較して示すこと。 | 地下構造 | 平成27年1月22日ヒア |
| H87 | 平成27年1月14日 | 第24回ヒア | 地震観測記録の到来方向別の比較について、検討対象地震毎にH/Vスペクトル比を示すこと。 | 地下構造 | 平成27年1月22日ヒア |
| H88 | 平成27年1月14日 | 第24回ヒア | 地震動評価に用いる地下構造モデルの地盤増幅特性が、南北傾斜の影響を検討した2次元地下構造モデルの地盤増幅特性を全周期帯で上回らなくても良い理由を示すこと。 | 地下構造 | 平成27年1月22日ヒア |
| H89 | 平成27年1月22日 | 第25回ヒア | 2次元地下構造モデルの検討における入射角のイメージ図について、実際の寸法で記載すること。 | 地下構造 | 平成27年3月4日ヒア |
| H90 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 下宇部尾東のはぎ取り調査のうち貫入岩付近における堆積岩の岩種区分について詳細な説明を行うこと。 | 地震 | 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| H91 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 下宇部尾東のボーリングコアにおいて認められた安山岩について、岩種区分の詳細な説明を行うこと。 | 地震 | 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| H92 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 下宇部尾東のはぎ取り調査のうち貫入岩付近の調査結果について、貫入岩と堆積岩の接触関係について詳細な説明を行うこと。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| H93 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 森山のボーリング調査について、北東-南西方向(トレンチ位置付近～CMP490付近)の地質断面図を示すこと。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| H94 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 森山のトレンチ調査付近で事前実施したボーリング調査による地質断面図を示すこと。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| H95 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 森山のトレンチ調査について、北東面の観察結果に加えて、北西面と南西面の観察結果も示すこと。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| H96 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 女島地点において、現時点のボーリング調査のみでは、断層の存在が否定できないことから、追加のボーリング調査を検討すること。 | 地震 | 平成27年3月31日ヒア 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| H97 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 斜面部に認められる過褶曲の成因について検討すること。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H98 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 背斜軸付近の地質・地質構造が確認できる法面等の写真を提示すること。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H99 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | シーム確認ピット、海岸露頭等において、NW-SE方向の節理が卓越するように見えるため、2000年鳥取西部地震との関連も含め、成因を検討すること。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H100 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | 1号放水口付近の海岸露頭で認められる貫入岩について、周辺岩盤との接触部も含めて、性状を確認すること。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|------------|--|------|--|
| H101 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | この地域における岩脈の貫入方向の特徴について整理すること。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H102 | 平成27年2月16日 | 第26回ヒア | シーム確認ピット、3号剥ぎ取り箇所等に分布するドレライトについて、岩種区分を再検討すること。 | 地盤 | 平成27年4月21日ヒア 平成27年4月24日会合 |
| H103 | 平成27年3月4日 | 第27回ヒア | 今回設定した地下構造モデルについて申請時からの変更点を整理して説明すること。 | 地下構造 | 平成27年4月1日ヒア |
| H104 | 平成27年3月4日 | 第27回ヒア | 解放基盤表面の設定根拠について地震動評価のまとめ資料に示すこと。 | 地下構造 | 平成27年9月29日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H105 | 平成27年3月11日 | 第28回ヒア | 採泥調査結果について、分析対象とした貝殻の産出状況(種類や性状)の確認を行うこと。 | 地震 | 平成27年5月12日ヒア 平成27年5月15日会合 |
| H106 | 平成27年3月11日 | 第28回ヒア | 断層端部付近について、上載地層(B層)のコンターマップ(等深線図)を示すこと。 | 地震 | 平成27年5月12日ヒア 平成27年5月15日会合 |
| H107 | 平成27年3月11日 | 第28回ヒア | 各調査海域について、海底地形図に断層分布等を記した図面を示すこと。 | 地震 | 平成27年5月12日ヒア 平成27年5月15日会合 |
| H108 | 平成27年3月11日 | 第28回ヒア | 採泥調査について、火山灰分析の結果を示すこと。 | 地震 | 平成27年5月12日ヒア 平成27年5月15日会合 |
| H109 | 平成27年3月31日 | 第29回ヒア | 重力異常図に断層位置を明示し、活断層と重力異常の関係について説明すること。 | 地震 | 平成27年5月26日ヒア 平成27年6月3日ヒア 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| H110 | 平成27年3月31日 | 第29回ヒア | 女島地点の海岸部における泥岩と火山角礫岩との境界部の写真を提示すること。 | 地震 | 平成27年7月8日ヒア 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |
| H111 | 平成27年4月1日 | 第30回ヒア | 地下構造モデル深部の物性値の設定に用いている文献の説明の記載を修正すること。 | 地下構造 | 平成27年8月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H112 | 平成27年5月12日 | 第32回ヒア | F-Ⅲ・F-Ⅳ断層とF-①・F-②断層の地質・地質構造の違いについて整理して示すこと。 | 地震 | 平成27年5月26日ヒア 平成27年6月3日ヒア 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| H113 | 平成27年5月12日 | 第32回ヒア | F-Ⅲ断層とF-②断層間の変形構造について、褶曲と評価した判断基準を整理して示すこと。 | 地震 | 平成27年5月26日ヒア 平成27年6月3日ヒア 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| H114 | 平成27年5月12日 | 第32回ヒア | シームの薄片観察の結果、濁沸石だけでなく、束沸石等の低温で生成される沸石も確認されたため、再整理すること。 | 地盤 | 平成27年6月3日ヒア 平成27年7月29日ヒア 平成27年12月14日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H115 | 平成27年5月12日 | 第32回ヒア | シームやドレライト等の薄片観察の結果、場所によって、斜長石が強い熱変成を受けている場合(曹長石化)とそうでない場合が認められることから、より詳細に分析すること。 | 地盤 | 平成27年6月3日ヒア 平成27年7月29日ヒア 平成27年12月14日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H116 | 平成27年5月12日 | 第32回ヒア | No. 341ボーリング(GL-203.23m)の薄片観察では、通常、ドレライト中には晶出しないザクロ石等の鉱物が認められることから、成因について検討すること。 | 地盤 | 平成27年6月3日ヒア 平成27年10月21日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H117 | 平成27年5月26日 | 第33回ヒア | F-②断層の南に別の構造があるとも考えられることから、沿岸部付近(F-②断層～宍道湖)の地質断面図を作成すること。 | 地震 | 平成27年6月3日ヒア 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| H118 | 平成27年5月26日 | 第33回ヒア | 重力データ解析の解析概要について資料を示すこと。 | 地震 | 平成27年6月3日ヒア 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| H119 | 平成27年6月3日 | 第34回ヒア | 中海から美保湾及び大社衝上断層から大田沖について、重力異常の要因と考えられる古い構造の連続性について示すこと。 | 地震 | 平成27年6月17日ヒア 平成27年6月19日会合 |
| H120 | 平成27年6月8日 | 第35回ヒア | 火山影響評価の当初申請からの見直し箇所については、検討項目毎に記載すること。 | 火山 | 平成27年6月12日会合 |
| H121 | 平成27年7月8日 | 第37回ヒア | 宍道断層の評価結果のまとめを示すこと。 | 地震 | 平成27年7月22日ヒア 平成27年7月31日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|---|----|--|
| H122 | 平成27年7月22日 | 第38回ヒア | F-①断層とF-②断層の連続性を確認するため、F-②断層の東側の音波探査測線の記録を追加すること。 | 地震 | 平成27年7月31日会合 |
| H123 | 平成27年7月22日 | 第39回ヒア | 女島のボーリング調査結果について、破砕部の性状および評価結果のまとめを詳細に記載すること。 | 地震 | 平成27年7月31日会合 |
| H124 | 平成27年8月25日 | 第41回ヒア | 大深度ボーリングのコアにおいて認められるドレライト中の黒色斑点及び凝灰質頁岩中の楕円形構造について、詳細に説明すること。 | 地盤 | 平成27年10月21日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H125 | 平成27年8月25日 | 第41回ヒア | 大深度ボーリングの柱状図に記載された「黒色頁岩が黒色化した」理由を説明すること。 | 地盤 | 平成27年10月21日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H126 | 平成27年8月25日 | 第41回ヒア | 大深度ボーリングのコアにおいて、深度72m付近に認められる凹凸の貫入面を示すドレライトの性状を詳細に説明すること。 | 地盤 | 平成27年10月21日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H127 | 平成27年8月25日 | 第41回ヒア | 大深度ボーリングのコアにおいて、深度224m付近に認められる破砕部の性状を説明すること。 | 地盤 | 平成27年10月21日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H128 | 平成27年9月29日 | 第43回ヒア | 検討用地震の選定については、孤立した短い活断層も含めて検討していることがわかるような記載を追加すること。 | 地震 | 平成28年2月3日ヒア 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H129 | 平成27年9月29日 | 第43回ヒア | 孤立した短い活断層については、検討用地震の選定にあたり、断層の評価長さを15kmとしているが、その長さをどのように延ばして評価しているかを確認し、説明すること。 | 地震 | 平成28年2月3日ヒア 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H130 | 平成27年9月29日 | 第43回ヒア | 地下構造モデルにおいて、「3号地下構造モデル」という名称については、本適合性審査の対象が2号炉であることを踏まえて、適切な表現に修正すること。 | 地震 | 平成28年2月3日ヒア 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H131 | 平成27年9月29日 | 第43回ヒア | 地震動評価の評価ケースにおいて、各断層パラメータについては、不確かさを考慮した断層パラメータと不確かさを重畳して考慮した断層パラメータの分類の考え方について説明すること。 | 地震 | 平成28年2月3日ヒア 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H132 | 平成27年9月29日 | 第43回ヒア | 宍道断層による地震の地震動評価において、破壊開始点については、断層やアスペリティ両下端だけでなく、発電所の直下に設定するケースについても検討すること。 | 地震 | 平成28年2月3日ヒア 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H133 | 平成27年9月29日 | 第43回ヒア | F-Ⅲ～F-Ⅴ断層による地震の地震動評価において、アスペリティ位置の不確かさケースについては、アスペリティを縦長に配置するケースについても検討すること。 | 地震 | 平成28年2月3日ヒア 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H134 | 平成27年9月29日 | 第43回ヒア | 敷地周辺海域の活断層評価について、これまで説明した追加調査と今回説明した更なる追加調査を区別して示すこと。 | 地震 | 平成27年10月21日ヒア 平成27年11月12日ヒア 平成27年11月20日会合 |
| H135 | 平成27年9月29日 | 第43回ヒア | 日本海における大規模地震に関する調査検討会報告書を参考に評価した断層について、端部の記録を示すこと。 | 地震 | 平成27年10月21日ヒア 平成27年11月12日ヒア 平成27年11月20日会合 |
| H136 | 平成27年10月21日 | 第44回ヒア | 申請時以降に公表された国交省の文献断層の評価方法について、考え方を整理すること | 地震 | 平成27年11月12日ヒア 平成27年11月20日会合 |
| H137 | 平成27年11月12日 | 第45回ヒア | 国交省断層について、今回の評価に至った経緯を詳細に記載すること。 | 地震 | 平成27年11月20日会合 |
| H138 | 平成27年12月14日 | 第47回ヒア | 敷地周辺におけるシームの有無について整理すること。 | 地盤 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H139 | 平成27年12月14日 | 第47回ヒア | 敷地の地質・地質構造に係る全体のまとめ資料を整理すること。 | 地盤 | 平成28年1月6日ヒア 平成28年1月15日会合 |
| H140 | 平成27年12月14日 | 第47回ヒア | 今回のコメント回答を踏まえた火山影響評価のまとめを示すこと。 | 火山 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| H141 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | Wattsほか(2005)を用いて二層流モデルによる検討の対象とする海底地すべりのスクリーニングすることの妥当性を示すこと。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-----------|------------|--|----|--|
| H142 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | 海底地すべりについて、複数の地すべり地形が同時に崩壊する場合を想定しない根拠を提示すること。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H143 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | 隠岐諸島の陸上地すべり等による敷地への影響について説明すること。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H144 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | 岩盤崩壊について検討すること。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H145 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | 火山事象に起因する津波の検討において、敷地周辺での渡島大島津波の観記録を確認すること。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H146 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | 防波壁の位置付け等、津波に対する防護の考え方を説明すること。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H147 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | 深淺測量等に基づく港湾内や敷地前面の海底地形データ、潮位条件の根拠となる潮位観測結果、津波堆積物調査結果を追加すること。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H148 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | 津波起因事象の重畳による津波の想定において、基準津波として選定されている鳥取県(2012)が想定した波源と地すべりの検討ケースを想定しない理由について説明すること。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H149 | 平成28年1月6日 | 第48回ヒア | 海域活断層と海底地すべりの重畳を考慮しても評価水位に影響がない根拠を説明すること。 | 津波 | 平成28年4月6日ヒア 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H150 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 検討の概要において、断層モデルを用いた手法による長周期側に用いた理論的手法については、その具体的な手法を記載すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H151 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 被害地震において、M-Δ図の中で海洋プレート内地震がどの地震かをわかるように示すこと。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H152 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 敷地周辺における地震活動において、敷地近傍で認められる地震の集中については、その要因を記載すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H153 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 検討用地震の選定において、海洋プレート内地震及びプレート間地震が敷地へ及ぼす影響が小さい根拠を記載すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H154 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | M-Δ図によるスクリーニングと応答スペクトルによるスクリーニングについては、それらの関係をもう少しわかりやすく整理すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H155 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 孤立した短い活断層については、その震源断層の傾斜角に係る設定の考え方を記載すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H156 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 地震動評価の基本方針において、2号及び3号炉心位置における解放基盤表面のS波速度については、本申請が2号炉申請ということも踏まえて表現を工夫すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H157 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 断層モデルによる地震動評価に係る作成条件の中の高周波限界遮断周波数については、その設定根拠を記載すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H158 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 宍道断層による地震の断層パラメータにおいて、断層幅については、地震発生層の上端深さの不確かさも踏まえて設定されていることがわかるように記載すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H159 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 断層傾斜角については、産総研の「活断層データベース」による90°と敷地周辺で発生した地震の断層傾斜角の傾向による80°との関係をレシピも踏まえて整理すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H160 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 宍道断層による地震の地震動評価ケースにおいて、破壊伝播速度と短周期レベルの不確かさの組み合わせケースについては、短周期レベルをレシピの1.25倍とすることの妥当性を短周期レベルの不確かさを考慮したケース(レシピの1.5倍)との関係も含めて整理すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-----------|------------|---|----|---|
| H161 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 宍道断層による地震の断層モデルにおいて、断層トレースについては、自社による変位地形・リニアメントの判読結果等を踏まえて再度検討すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H162 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | 第一アスペリティの位置については、島根原子力発電所が中央となるケース、Aランクの変位地形・リニアメントの東端に合わせるケース、断層幅を小さくしてAランクの変位地形・リニアメントの全体に合わせるケースなどについても検討すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H163 | 平成28年2月3日 | 第50回ヒア | F-Ⅲ断層+F-Ⅳ断層+F-Ⅴ断層による地震において、断層傾斜角の設定の考え方については、宍道断層による地震の断層傾斜角の設定の考え方や不確かさの重畳の考え方等も踏まえて再度検討すること。 | 地震 | 平成28年3月2日ヒア 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H164 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 申請時からの変更点については、変更した根拠も記載すること。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H165 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 検討用地震の選定において、プレート間地震が敷地に影響を及ぼす影響が小さいとしているが、その根拠については、内閣府による評価結果だけでなく、文献調査結果も加えること。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H166 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 地震動評価の基本方針(断層モデルによる地震動評価)において、高周波限界遮断周波数については、レシビと異なる値を設定しているのので、その設定根拠を示すこと。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H167 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 宍道断層による地震の断層パラメータの設定根拠において、断層傾斜角については、レシビの考え方に基づいて整理し、その根拠も示すこと。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H168 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 宍道断層による地震の地震動評価ケースにおいて、破壊伝播速度と短周期レベルの組合せケースについては、短周期レベルの不確かさケースではレシビ×1.5としていることを踏まえて再度検討すること。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H169 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 短周期レベルとの不確かさの組合せケースについては、破壊伝播速度だけでなく、震源断層が敷地近傍に位置している先行他社でも行われている断層傾斜角についても検討すること。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H170 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 不確かさの組合せケースで組合せる短周期レベルに係る記載については、先行他社での検討状況を踏まえて適切な表現に修正すること。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H171 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 宍道断層による地震の断層モデルにおいて、そのモデル化については、変更前と変更後のものがわかるように示すこと。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H172 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | 宍道断層による地震の応答スペクトルの評価結果において、片岡ほか(2006)については、震源断層が敷地近傍に位置している先行他社でも行われている短周期レベルの不確かさケース等についても検討すること。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア |
| H173 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | F-Ⅲ～F-Ⅴ断層による地震の断層パラメータの設定根拠において、断層傾斜角の設定の考え方については、不確かさケースも含め、宍道断層での考え方踏まえて再度整理すること。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H174 | 平成28年3月2日 | 第51回ヒア | F-Ⅲ～F-Ⅴ断層による地震の応答スペクトルの適用性検討において、耐専式の適用の考え方を整理すること。 | 地震 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年5月13日会合 |
| H175 | 平成28年4月6日 | 第52回ヒア | 新しい火口の開口及び地殻変動による影響については、評価根拠を充実すること。 | 火山 | 平成28年4月19日ヒア 平成28年4月28日会合 |
| H176 | 平成28年4月6日 | 第52回ヒア | 発電所の概要において、津波による水位の評価地点を明確にすること。 | 津波 | 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H177 | 平成28年4月6日 | 第52回ヒア | 地震による津波において検討する領域については、敷地周辺海域と日本海東縁部としているが、日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の大和堆への伝播状況も踏まえて、その妥当性について説明すること。 | 津波 | 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H178 | 平成28年4月6日 | 第52回ヒア | 海域活断層の詳細パラメータスタディの波源モデルにおいて、断層上縁深さの設定方法については、0kmと2kmとしている根拠を土木学会(2002)の記載も踏まえて、更に詳細に説明すること。 | 津波 | 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|------------|--|----|--|
| H179 | 平成28年4月6日 | 第52回ヒア | 陸上地すべりに起因する津波の検討において、Ls26については、地すべりブロック全体の設定根拠やLs27と一括して崩壊しない根拠、Ls28と29については、それらが一括して崩壊しない根拠を詳細に説明すること。 | 津波 | 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H180 | 平成28年4月6日 | 第52回ヒア | 重畳による津波想定において、海域活断層との組合せについては、F-Ⅲ～F-V断層のみを対象としているが、それ以外の海域活断層とその他の要因の組合せケースの方が敷地への影響が大きくなる可能性があることを確認すること。 | 津波 | 平成28年8月2日ヒア 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H181 | 平成28年4月19日 | 第53回ヒア | 被害地震(プレート間)において、敷地に影響を及ぼす地震はないとしているが、その根拠については、内閣府による評価結果や文献調査結果だけでなく、マグニチュードと震央距離との関係も確認し、それも踏まえて考察すること。 | 地震 | 平成28年5月13日会合 |
| H182 | 平成28年4月19日 | 第53回ヒア | 地震動評価ケースのうち、横ずれ断層の短周期レベルの不確かさを考慮してケース及び中越沖地震の短周期レベルの不確かさを考慮したケースについては、それぞれの評価ケースの位置付けを明確にすること。 | 地震 | 平成28年5月13日会合 |
| H183 | 平成28年4月19日 | 第53回ヒア | 2断層の地震動評価において、応答スペクトル及び断層モデルを用いた手法による地震動評価結果については、基本ケースや各不確かさケースの傾向がわかる資料を追加すること。 | 地震 | 平成28年5月13日会合 |
| H184 | 平成28年6月15日 | 第54回ヒア | 宍道断層の地震動評価において、不確かさの組合せについては、前回審査会合での指摘を踏まえて、再度検討すること。 | 地震 | 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H185 | 平成28年6月15日 | 第54回ヒア | 地震動評価ケースにおいて、基本ケースのパラメータについては、破壊開始点のように既に不確かさを含んでいるものもあるが、その位置付けを明確にする観点から、レシピに従って不確かさを含まずにパラメータを設定すること。 | 地震 | 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H186 | 平成28年6月15日 | 第54回ヒア | 検討用地震のモデル化において、申請時から変更している断層パラメータ等については、その根拠も含めて詳細に説明すること。また、各断層パラメータについては、基本ケース、不確かさケースともにそれらの設定に係る基本的な考え方が整合していることを確認すること。 | 地震 | 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H187 | 平成28年6月15日 | 第54回ヒア | 影響検討ケースについては、不確かさケースに名称を見直すとともに、基準地震動の策定に考慮していることがわかるように記載を修正すること。 | 地震 | 平成28年8月31日ヒア 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H188 | 平成28年8月2日 | 第55回ヒア | 防波堤については、その位置づけを明確にするとともに、防波堤がない場合における津波の影響についても確認すること。 | 津波 | 平成30年6月12日ヒア |
| H189 | 平成28年8月2日 | 第55回ヒア | 陸上地すべりにについては、地すべり地形における長さ及び幅の抽出方法について詳細に説明するとともに、臼杵ほか(2005)による地すべり土塊の移動距離の指標として移動係数 T_r を0.5とした根拠についても示すこと。 | 津波 | 平成28年11月22日ヒア 平成28年12月16日会合 |
| H190 | 平成28年8月31日 | 第56回ヒア | 地震発生層の設定については、その設定根拠及び2000年鳥取県西部地震の震源分布の代表性について、地震調査研究推進本部による宍道断層の長期評価や先行サイトでの検討状況等も踏まえてデータ拡充を行うとともに詳細に説明すること。 | 地震 | 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H191 | 平成28年8月31日 | 第56回ヒア | 短周期レベルの設定根拠におけるスペクトルインバージョンによる解析手法については、その精度も含めて詳細に説明すること。 | 地震 | 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H192 | 平成28年8月31日 | 第56回ヒア | 地震動評価のパラメータのうち傾斜角については、基本ケース及び不確かさを考慮したケースについて、その考え方と設定を再度整理して示すこと。 | 地震 | 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H193 | 平成28年8月31日 | 第56回ヒア | F-Ⅲ～F-V断層の断層位置における折れ点の設定根拠については、平面図だけではなく、断面図との関係も示した上で詳細に説明すること。 | 地震 | 平成28年10月20日ヒア |
| H194 | 平成28年8月31日 | 第56回ヒア | 宍道断層の地震動評価における破壊伝播区間の不確かさを考慮したケースについては、カスケードモデルによる評価の妥当性とその設定根拠(特にセグメント区分)について詳細に説明すること。 | 地震 | 平成28年10月20日ヒア 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|---|----|--|
| H195 | 平成28年10月20日 | 第57回ヒア | F-Ⅲ+F-Ⅳ+F-Ⅴ断層の傾斜角の不確かさの考え方について、地質調査結果を踏まえて再検討すること。 | 地震 | 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H196 | 平成28年10月20日 | 第57回ヒア | 不確かさの重畳について、断層傾斜角の不確かさのレベルも踏まえて再検討すること。 | 地震 | 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H197 | 平成28年10月20日 | 第57回ヒア | 敷地周辺の微小地震の震源鉛直分布について、東西の断面図を提示すること。 | 地震 | 平成28年11月1日ヒア 平成28年11月11日会合 |
| H198 | 平成28年11月1日 | 第58回ヒア | 傾斜ケースの断層の折れ曲がる部分のモデル化について、分かりやすく図示し、断層のモデル化上の長さの考え方を整理すること。 | 地震 | 平成28年11月11日会合 |
| H199 | 平成28年11月22日 | 第59回ヒア | 敷地周辺において公的機関が計測している潮位データを示すこと。 | 津波 | 平成28年12月16日会合 |
| H200 | 平成28年11月22日 | 第59回ヒア | 地震による津波の検討方針のフローにおいて、波源モデル、パラメータスタディの実施内容が分かるよう、詳細に記載すること。 | 津波 | 平成28年12月16日会合 |
| H201 | 平成28年12月20日 | 第60回ヒア | 森山のトレンチ調査について、火山灰分析結果等に基づく地質時代の考え方を詳細に説明すること。 | 地震 | 平成29年1月10日ヒア 平成29年1月23日ヒア 平成29年1月30日ヒア |
| H202 | 平成28年12月20日 | 第60回ヒア | 宍道断層の断層傾斜角について、再度整理し、詳細に説明すること。 | 地震 | 平成29年1月10日ヒア 平成29年1月23日ヒア 平成29年1月30日ヒア 平成29年10月3日ヒア |
| H203 | 平成28年12月20日 | 第60回ヒア | 地震発生層下限深さを余裕をみて20kmに設定していることについて、説明性を上げること。 | 地震 | 平成29年1月10日ヒア 平成29年10月3日ヒア |
| H204 | 平成28年12月20日 | 第60回ヒア | 前回の審査会合で提示した宍道断層63kmのケース(西の重力異常を含む:カスケード解析)については、最終的なまとめ資料において示すこと。 | 地震 | 平成29年11月16日ヒア 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| H205 | 平成29年3月13日 | 第67回ヒア | 宍道断層の東延長部について、個別の地点ではなく全体を示した平面図とそれに対応した断面図を作成し、適切な調査を行い、後期更新世以降の活動性を評価していることを確認すること。 | 地震 | 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| H206 | 平成29年3月13日 | 第67回ヒア | 森山付近の文献断層通過位置付近において、土地造成が実施されていることから、露頭状況を確認すること。 | 地震 | 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| H207 | 平成29年3月13日 | 第67回ヒア | Loc.T-1付近の採石場の露頭全景に対応したスケッチ図を示し説明を加えること。 | 地震 | 平成29年3月29日ヒア 平成29年4月4日ヒア 平成29年4月10日ヒア 平成29年4月26日ヒア 平成29年5月17日ヒア 平成29年5月31日ヒア 平成29年6月9日会合 |
| H208 | 平成29年3月13日 | 第67回ヒア | 日本海東縁部に想定される地震による津波については、更なる不確かさとして考慮する大すべり域の分割方法について再検討すること。 | 津波 | 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| H209 | 平成29年3月13日 | 第67回ヒア | 海底地すべりの検討について、複数手法で実施していることを説明すること。 | 津波 | 平成29年4月19日ヒア 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|------------|--|----|---|
| H211 | 平成29年4月19日 | 第71回ヒア | 地震発生領域の連動を考慮した検討においては、不確かさとして考慮する大すべり域の分割方法について再検討すること。 | 津波 | 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| H212 | 平成29年4月19日 | 第71回ヒア | 万寿津波を引き起こした可能性のある海底地すべりについて敷地への影響を検討すること。 | 津波 | 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| H213 | 平成29年4月19日 | 第71回ヒア | 津波堆積物調査について、文献の調査結果から推定される津波高さ と当社の津波解析結果とを比較し、評価を行うこと。 | 津波 | 平成29年6月7日ヒア 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| H214 | 平成29年6月7日 | 第75回ヒア | 地震発生領域の連動を考慮した検討においては、断層上縁深さ1km、 走向の不確かさ及び大すべり域が離れたケースについて検討すること。 また、波源モデル位置の不確かさについても検討すること。 | 津波 | 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| H215 | 平成29年6月7日 | 第75回ヒア | 海底地すべりの検討について、複数手法で実施していることを説明する こと。 また、検討に当たっては、同じ地すべり規模で実施すること。 | 津波 | 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| H216 | 平成29年6月7日 | 第75回ヒア | 追加検討結果を含め基準津波については取りまとめること。 | 津波 | 平成30年2月20日ヒア 平成30年3月5日ヒア 平成30年3月20日ヒア 平成30年4月6日会合 |
| H217 | 平成29年7月5日 | 第76回ヒア | 地蔵崎の2本の正断層について、断層活動性を評価すること。 | 地震 | 平成29年7月12日ヒア 平成29年7月18日ヒア 平成29年7月28日会合 |
| H218 | 平成29年8月28日 | 現地確認 | 宇井～福浦のリニアメント判読結果のうち、番号⑩について詳細を説明 すること。 | 地震 | 平成29年9月11日ヒア 平成29年9月19日ヒア |
| H219 | 平成29年8月28日 | 現地確認 | 断層露頭⑥-2は、熱水変質部以外にも熱水変質を受けていることを 記載すること。 | 地震 | 平成29年9月11日ヒア 平成29年9月19日ヒア |
| H220 | 平成29年8月28日 | 現地確認 | 断層露頭⑥-2の熱水変質部における「弱いせん断面(粘土を伴う不 連続面)」と「断層面」との違いを説明すること。 | 地震 | 平成29年9月11日ヒア 平成29年9月19日ヒア |
| H221 | 平成29年8月28日 | 現地確認 | 断層露頭⑦のb断層の運動センスについて詳細を観察すること。 | 地震 | 平成29年9月11日ヒア 平成29年9月19日ヒア |
| H222 | 平成29年8月28日 | 現地確認 | Loc.T-3付近の道路改良に伴う切土部のc断層について、砕屑岩脈と している箇所の詳細を観察すること。 | 地震 | 平成29年9月11日ヒア 平成29年9月19日ヒア |
| H223 | 平成29年8月28日 | 現地確認 | Loc.T-1付近の採石場のa断層とLoc.T-3付近の道路改良に伴う切土 部のb断層の走向・傾斜の値を再確認すること。 | 地震 | 平成29年9月11日ヒア 平成29年9月19日ヒア |
| H224 | 平成29年10月3日 | 第84回ヒア | 宍道断層による地震の地震動評価については、鳥取沖西部断層との 連動を考慮する必要性の有無、及びその根拠を地質調査結果及び地 震動評価における両方の観点から示すこと。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H225 | 平成29年10月3日 | 第84回ヒア | 地震発生層の設定における気象庁一元化データの震源鉛直分布につ いては、使用データの期間について十分であるかどうかを示すとも に、地震動評価における断層幅を地震発生層から推定した断層幅より 大きく設定したことについては、設定値の根拠についても示すこと。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H226 | 平成29年10月3日 | 第84回ヒア | 解放基盤表面の設定については、現在示されている速度層断面の敷 地における位置関係がわかるよう平面図も同時に示すとともに、2号 タービン建屋付近に見られる3層上面の窪みについても詳細に説明す ること。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|--|----|---|
| H227 | 平成29年10月3日 | 第84回ヒア | 宍道断層の基本震源モデルにおける断層傾斜角については、参照情報として1943年鳥取地震及び2000年鳥取県西部地震を挙げているが、その代表性について詳細に説明すること。また、産総研の活断層データベースにおける宍道断層のパラメータについても、その引用元等を確認すること。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H228 | 平成29年10月3日 | 第84回ヒア | 宍道断層による地震の地震動評価におけるアスペリティの不確かさを考慮したケースについては、アスペリティ配置の考え方を整理して示すとともに、前回からの変更点がわかるよう記載すること。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H229 | 平成29年10月3日 | 第84回ヒア | 宍道断層による地震の地震動評価における不確かさの組合せについては、組合せケースの考え方について再度整理して示すこと。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H230 | 平成29年10月3日 | 第84回ヒア | 宍道断層及びF-Ⅲ～F-V断層による地震の地震動評価結果における各々の擬似速度応答スペクトルについては、断層モデルによる地震動評価結果及び応答スペクトルに基づく地震動評価の両者が比較出来るよう、両結果を各々の擬似速度応答スペクトル図にまとめて示すこと。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H231 | 平成29年10月3日 | 第84回ヒア | 巨視的断層パラメータの設定根拠として、2016年10月に発生した鳥取県中部の地震の地震規模及び傾斜角が示されているが、短周期レベル等の微視的パラメータについても学会等により発表が行われているため、引き続き情報の収集を行った上で資料に反映させること。 | 地震 | 平成29年10月10日ヒア 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H232 | 平成29年10月10日 | 第85回ヒア | 地震動評価における断層幅を地震発生層から推定した断層幅より大きく設定したことについては、地震発生層の上限深さ及び下限深さを再度整理した上で、断層幅の設定値の根拠についても示すこと。 | 地震 | 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H233 | 平成29年10月10日 | 第85回ヒア | 地震発生層の設定における気象庁一元化データの震源鉛直分布については、最新のデータも用いて示すこと。 | 地震 | 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H234 | 平成29年10月10日 | 第85回ヒア | 宍道断層による地震の地震動評価における基本震源モデルについては、地質調査結果を再度整理した上で、連動の考慮に関する考え方を理解しやすいように記載するとともに、断層モデルによる断層トレースと地質調査結果による断層長さとの関係について詳細に説明すること。 | 地震 | 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H235 | 平成29年10月10日 | 第85回ヒア | F-Ⅲ～F-V断層による地震の地震動評価結果における基本震源モデルの断層傾斜角については、地質調査結果による傾斜角が現在の応力場で形成されたものではないとする根拠について示すとともに、宍道断層による地震と同様に設定する根拠についても示すこと。 | 地震 | 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H236 | 平成29年10月10日 | 第85回ヒア | 断層モデルによる地震動評価におけるアスペリティ面積の算出方法については、 S_a/S による閾値が以前の資料に示されている値から変更されているが、変更するに至った経緯と変更した閾値の根拠について示すとともに、断層パラメータ表にも S_a/S を記載すること。 | 地震 | 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H237 | 平成29年10月10日 | 第85回ヒア | 敷地周辺の被害地震については、その諸元を資料に追加するとともに、2016年10月に発生した鳥取県中部の地震についても、引き続き情報の収集を行った上で資料に反映させること。 | 地震 | 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H238 | 平成29年10月10日 | 第85回ヒア | 敷地周辺の横ずれ断層の主な地震の断層傾斜角において、例えば、2016年10月に発生した鳥取県中部の地震の断層傾斜角については、F-netによる傾斜角のみならず、地震調査委員会等、他の情報もあることから、そういった情報がある場合には、複数の傾斜角を提示した上で、最終的に選定した傾斜角、その根拠を記載すること。 | 地震 | 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H239 | 平成29年10月10日 | 第85回ヒア | 宍道断層及びF-Ⅲ～F-V断層による地震の地震動評価結果については、速度波形も追加すること。 | 地震 | 平成29年10月18日ヒア 平成29年10月27日会合 |
| H240 | 平成29年10月18日 | 第86回ヒア | 各断層の地震動評価のパラメータ表には、実際にモデル計算に用いたアスペリティ面積も記載すること。また、表中の各パラメータの設定根拠に記載された数式等を確認し適正化すること。 | 地震 | 平成29年10月27日会合 |
| H241 | 平成29年10月18日 | 第86回ヒア | 地震発生層の設定に係るまとめにおいて、中国地域の長期評価(H28年7月)の地震発生層の下限深さD90の値に関し、それが深く求まっている山陽地域等も考慮した値であると解釈しているが、気象庁一元化データの震源鉛直分布でもその状況が確認できるのであれば、そういった内容を記載すること。 | 地震 | 平成29年10月27日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|---|----|--|
| H242 | 平成29年10月18日 | 第86回ヒア | 地震動評価における不確かさについては、「認識論的不確かさ」及び「偶然的な不確かさ」の分類に係る基本的な考え方を追記すること。 | 地震 | 平成29年10月27日会合 |
| H243 | 平成29年11月8日 | 第87回ヒア | 地震発生層の下限深さの設定根拠の記載を適正化すること。また、震源インバージョン解析結果の扱いについての表現を適正化すること。 | 地震 | 平成29年11月16日ヒア 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| H244 | 平成29年11月8日 | 第87回ヒア | F-Ⅲ～F-V断層による地震の地震動評価において、基本震源モデルの傾斜角設定の考え方を整理すること。 | 地震 | 平成29年11月16日ヒア 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| H245 | 平成29年11月8日 | 第87回ヒア | F-Ⅲ～F-V断層による地震の地震動評価において、断層幅が比較的厚いことから、耐専式に適用する地震規模の設定に武村式を用いることの必要性について検討すること。 | 地震 | 平成29年11月16日ヒア 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| H246 | 平成29年11月8日 | 第87回ヒア | 宍道断層の応答スペクトル法による地震動評価において、距離減衰式にNGA2008を用いた場合の計算結果を資料に加えること。 | 地震 | 平成29年11月16日ヒア 平成29年11月21日ヒア |
| H247 | 平成29年11月16日 | 第88回ヒア | F-Ⅲ～F-V断層による地震の応答スペクトルの適用性の検討については、その検討結果が一覧表等で判るよう適正化すること。 | 地震 | 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| H248 | 平成29年11月16日 | 第88回ヒア | 地震発生層の設定については、説明文の内容が検討結果表のどこにあたるかを明確にすること。また、文献の引用により記載した内容は、引用元を明記すること。 | 地震 | 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| H249 | 平成29年11月16日 | 第88回ヒア | F-Ⅲ～F-V断層の断層運動センスについては、現在の応力場の検討結果に基づいた説明を加えること。 | 地震 | 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| H250 | 平成29年11月16日 | 第88回ヒア | F-Ⅲ～F-V断層の評価ケースのうち、断層傾斜角の不確かさを考慮したケースについては、断層幅が他の検討ケースと大きく異なることを考慮したアスペリティ形状を検討中とのことであり、今後、その結果を整理して示すこと。 | 地震 | 平成29年11月21日ヒア 平成29年12月1日会合 |
| H251 | 平成29年11月21日 | 第89回ヒア | 宍道断層及びF-Ⅲ～F-V断層による地震の応答スペクトルについては、両断層による地震の地震動レベルの違いが判るよう、両者を重ねた図も示すこと。 | 地震 | 平成29年12月1日会合 |
| H252 | 平成29年11月21日 | 第89回ヒア | 地震発生層の設定については、その他の研究成果の検討結果を参考とする根拠として引用している文献について表記の適正化を行うこと。 | 地震 | 平成29年12月1日会合 |
| H253 | 平成29年12月13日 | 第90回ヒア | 基準地震動 S_s-D についての策定の考え方を明確に説明した上で、基準地震動 S_s-D が断層モデルを用いた手法による地震動評価結果を有意に上回るとしていることについて、より詳細な説明を行うこと。また、基準地震動 S_s-D の策定にあたってのコントロールポイントの設定の考え方について詳細に説明すること。 | 地震 | 平成30年1月9日ヒア 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H254 | 平成29年12月13日 | 第90回ヒア | 基準地震動 S_s-D と断層モデルを用いた手法による地震動評価結果の比較にあたっては、フーリエ位相スペクトル及びフーリエ振幅スペクトルについても比較検討を行うこと。 | 地震 | 平成30年1月9日ヒア 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H255 | 平成29年12月13日 | 第90回ヒア | 基準地震動 S_s-D と断層モデルを用いた手法による地震動評価結果のパワースペクトルの比較図では、比較に用いた断層モデルが1ケースのみであるため、その他のケースについても比較し、説明性の高い資料とすること。 | 地震 | 平成30年1月9日ヒア 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|-------------|------------|--|----|--|
| H256 | 平成29年12月13日 | 第90回ヒア | 基準地震動Ss-Dと断層モデルを用いた手法による地震動評価結果の応答スペクトルの比較図(加速度)に主要施設、設備等の固有周期を示すこと。 | 地震 | 平成30年1月9日ヒア 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H257 | 平成29年12月13日 | 第90回ヒア | 検討概要に記載された地震規模については、基本震源モデルにおいて、複数のスケールリング則により検討されていることが分かるように記載の適正化を行うこと。 | 地震 | 平成30年1月9日ヒア 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H258 | 平成29年12月13日 | 第90回ヒア | 「震源を特定して策定する地震動」及び「震源を特定せずに策定する地震動」の検討ケースの全てについて、疑似速度応答スペクトルの比較図及び加速度応答スペクトルの比較図を示すこと。また、これら比較図はNS 方向、EW 方向、UD 方向のそれぞれの成分で示すこと。 | 地震 | 平成30年1月9日ヒア 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H259 | 平成29年12月13日 | 第90回ヒア | 振幅包絡線の経時変化の設定については、各検討ケースの地震規模と等価震源距離の一覧表を示すなど設定の過程と根拠を明確にすること。 | 地震 | 平成30年1月9日ヒア 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H260 | 平成30年1月9日 | 第91回ヒア | 基準地震動の策定については、施設に与える影響の観点からもその基本的な考え方を明確にした上で、基準地震動Ss-Dが断層モデルを用いた手法による地震動評価結果を有意に上回るとしていることについて、より詳細な説明を行うこと。また、基準地震動Ss-Dの策定にあたってのコントロールポイントの設定の考え方について再度整理して示すこと。 | 地震 | 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H261 | 平成30年1月9日 | 第91回ヒア | 基準地震動Ss-Dと断層モデルを用いた手法による地震動評価結果の比較にあたっては、宍道断層による地震だけでなく、F-Ⅲ～F-V断層による地震の地震動評価結果についても比較検討を行うこと。 | 地震 | 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H262 | 平成30年1月9日 | 第91回ヒア | 基準地震動Ss-Dと断層モデルを用いた手法による地震動評価結果の応答スペクトルの比較図(加速度)については、鉛直方向にも主要施設、設備等の固有周期を示すこと。 | 地震 | 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H263 | 平成30年1月9日 | 第91回ヒア | 断層モデルを用いた手法による地震動評価結果については、施設に与える影響の観点から、宍道断層による地震の地震動評価である6波を選定しているが、選定した地震波の代表性について詳細に説明すること。 | 地震 | 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H264 | 平成30年1月9日 | 第91回ヒア | 地盤モデルの設定については、余裕を見て評価している点について詳細に説明するとともに、その根拠についても資料を追加すること。 | 地震 | 平成30年1月19日ヒア 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H265 | 平成30年1月19日 | 第92回ヒア | 基準地震動Ss-Fを応答スペクトル比により設定している根拠を充実させること。 | 地震 | 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H266 | 平成30年1月19日 | 第92回ヒア | 前回のヒアリングで提示していた基準地震動及び断層モデルの地震動評価結果のフーリエスペクトル、パワースペクトル、継続時間等を記載すること。 | 地震 | 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H267 | 平成30年1月19日 | 第92回ヒア | 設置許可申請時からの変更点について、地震発生層の変更も記載すること。 | 地震 | 平成30年1月23日ヒア 平成30年2月2日会合 |
| H268 | 平成30年2月7日 | 第94回ヒア | 断層モデル手法による基準地震動について、設定までの考え方をフロー図で示し、資料構成を見直すこと。 | 地震 | 平成30年2月16日会合 |
| H269 | 平成30年4月4日 | 第98回ヒア | 耐専式の内陸補正の有無の重みづけの設定について根拠を示すこと。 | 地震 | 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |
| H270 | 平成30年4月4日 | 第98回ヒア | 宍道断層による地震の地震動伝播モデルとしてAbrahamson et al. (2014)を用いている理由を示すこと。 | 地震 | 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |

島根原子力発電所2号機 コメントリスト(地震・津波関係)

| No. | 日付 | 審査会合・ ヒアリング | コメント内容 | 分野 | 回答日 |
|------|------------|----------------|--|----|------------------------------|
| H271 | 平成30年4月4日 | 第98回ヒア | 地震発生層厚さの設定根拠について説明を加えること。 | 地震 | 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |
| H272 | 平成30年4月4日 | 第98回ヒア | 特定震源のみのハザード曲線を示すこと。 | 地震 | 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |
| H273 | 平成30年4月4日 | 第98回ヒア | 断層面積から算出した地震モーメントを用いて地震規模Mを算出している場合は、武村(1990)の文献だけでなく、「入倉・三宅(2001)」の文献も併記すること。 | 地震 | 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |
| H274 | 平成30年4月4日 | 第98回ヒア | 宍道断層による地震の平均ハザード曲線について、断層モデルと距離減衰式で分離した図を示すこと。 | 地震 | 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |
| H275 | 平成30年4月4日 | 第98回ヒア | 基準地震動の年超過確率の説明において、「最も大きい基準地震動の年超過確率」としていることについて、表現を修正すること。 | 地震 | 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |
| H276 | 平成30年4月4日 | 第98回ヒア | 領域震源モデルの最大Mの設定において、「地震カタログに記載されている地震の最大Mに幅がある場合」としていることについて、記載を適正化すること。 | 地震 | 平成30年4月17日ヒア 平成30年4月27日会合 |
| H277 | 平成30年4月17日 | 第99回ヒア | F-Ⅲ断層+F-Ⅳ断層+F-Ⅴ断層の地震規模の設定において、武村(1998)を用いていない根拠を示すこと。 | 地震 | 平成30年4月27日会合 |